

# 第37回一般社団法人日本看護研究学会 学術集会

「エビデンスに基づいた看護実践を」

— 現場の研究熱を高めよう —

## プログラム

会長 黒田裕子

会 期 平成23年 8月 7日（日）， 8日（月）

会 場 パシフィコ横浜・会議センター  
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

学術集会事務局 第37回一般社団法人日本看護研究学会学術集会事務局  
〒252-0329 神奈川県相模原市北里 2-1-1  
北里大学大学院クリティカルケア看護学  
FAX：042-778-9069  
E-mail：jsnr37-office@umin.ac.jp  
ホームページ：http://jsnr37.umin.jp/

## ご 挨拶

第37回一般社団法人日本看護研究学会学術集会

会長 黒田 裕子

(北里大学大学院クリティカルケア看護学)

本学術集会のご挨拶に先立ちまして、2011年3月11日に発生いたしました東北・関東大地震の被災者および関係者の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

このような未曾有の事態から数ヶ月、非常に困難な状況下でございますが、私どもにできることから始めることが、微力ながら、わが国の復興に貢献できるのではないかと考え、本学術集会の開催に踏み切った次第です。関係者一同、無事に本学術集会が終了できることを願いつつ、鋭意準備を進めております。

さて、36年間という長い期間にわたって学術集会を重ねております歴史ある日本看護研究学会は、平成22年度から一般社団法人となり、社会に公に認められる一組織として着実に拡大発展してまいりました。

本学術集会では、メインテーマを“エビデンスに基づいた看護実践を！－現場の研究熱を高めよう－”とし、看護実践家をはじめとして多くの看護職にとって魅力的な集会とさせていただこうと意気込んでおります。

本学術集会では、出産後うつ状態及び外傷性出産に関する質的研究の学術研究者として、さらには、メタ分析及びメタシンセシスに関する研究手法を積極的に実践しておられる、著名なCheryle Tatano Beck博士の招聘講演を2つ予定しております。これに加えて看護学の専門性や看護研究方法に関する特別講演および教育講演、現場から発信する研究や研究成果の現場への還元に関するシンポジウム、パネルディスカッション、交流集会など、現場色の濃い内容も盛り込ませていただきました。さらに、本集会には例年とおり、多くの一般演題をご発表いただくこととなっております。

どうぞ皆様、この2日間を有意義な時間としていただき、より一層エビデンスに基づいた看護を実践するための手がかりを発見していただければ幸いです。

いまもって大変な状況にある方も多くいらっしゃるとは存じますが、明日の看護学の発展に向けて、本学術集会に足を運んでいただけることを願っております。数多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

# 学術集会に参加される方へのご案内

## 1. 総合受付

2階エントランスホールで総合受付を行います。

受付時間は、以下のとおりです。

8月7日 8時30分～18時

8月8日 8時30分～15時

### 【事前登録の方】

事前に参加費をご入金いただいた方には、参加証と領収書をご登録いただいたご住所に送付しております。当日の受付は不要です。送付いたしました参加証をお持ちいただき、会場内では必ずご着用ください。2階エントランスホールにネームホルダーを準備しておりますのでご使用ください。参加証のない方のご入場はお断りいたします。参加証をお忘れになった場合、総合受付の「会計」にお申し出ください

### 【当日受付の方】

当日、総合受付の「一般当日受付」で参加登録をしていただきます。参加費を納入いただき、参加証・領収書を受け取りください。参加証は、会場内では必ず着用ください。

当日の参加費は、以下のとおりです。学生の方は、学生証をご提示ください。

会員 12,000円 / 非会員 14,000円 / 学生（大学院生を除く）3,000円

## 2. 招聘講演・会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム・パネルディスカッション・交流集会・特別交流集会の演者および座長の方へ

### 【演者の方】

- ・各プログラム開始1時間前までに、2階エントランスホール総合受付の「主要プログラム：演者・座長受付」で受付をお済ませください。
- ・各プログラム開始1時間前までに、2階・211・PCセンターにおいて、発表データの受付をお済ませください。可能な場合、2日目のプログラムの方も、1日目に受付を済ませていただきますと幸いです。  
なお、お預かりしたデータは、本学術集会終了後に事務局責任のもと、消去いたします。
- ・ご講演で使用されるスライドの作成にあたりましては、このあとに掲載しております「4. 一般演題（口演および示説）の発表者へ」をご参照ください。  
データのファイル名は、「プログラム名\_\_お名前」としてごください。  
（例）シンポジウム I の「北里太郎」さんの場合：シンポジウム I \_\_北里太郎
- ・ご講演中の画面操作は、ご自身で操作していただきます。
- ・事前にお知らせしております時間になりましたら、各控室にて座長と打合せをなさってください。
- ・ご講演開始10分前になりましたら、係の者が会場までご案内いたします。

### 【座長の方】

- ・各プログラム開始1時間前までに、2階エントランスホール総合受付の「主要プログラム：演者・座長受付」で受付をお済ませください。
- ・事前にお知らせしております時間になりましたら、各控室にて演者と打合せをなさってください。
- ・ご講演開始10分前になりましたら、係の者が会場までご案内いたします。

## 3. 一般演題（口演）の座長の方へ

- ・ご担当の演題群開始30分前に、2階エントランスホール「一般演題座長受付」で受付を済ませてください。
- ・ご担当の口演会場内に設けた次座長席に前座長登壇後にご着席ください。
- ・開始時間となりましたら、進行を開始してください。

- ・ 1 演題あたり，発表10分，質疑応答 5 分です。時間内に口演が終了するよう，時間厳守をお願いいたします。
- ・ 演者が欠席の場合には，発表を繰り上げて進行してください。

#### 4. 一般演題（口演および示説）の発表者へ

##### 【口演発表をされる方】

###### 1) 発表に際して

- ・ 口演は，発表10分，質疑応答 5 分です。時間厳守をお願いいたします。
- 時間の経過は，発表終了 1 分前に青ランプ，終了時に赤ランプでお知らせいたします。プログラムの進行につきましては，座長の指示に従ってください。

###### 2) 発表データの受付と確認

- ・ 発表の当日，USB メモリーまたは CD-ROM に保存し，ご持参ください。
- ・ データのファイル名は，演題番号（半角），\_（アンダーバー），発表者氏名（カタカナ）としてください。  
 （例）演題番号11の「北里花子」さんの場合：11\_キタサトハナコ
- ・ 2 階211の PC センターでデータの受付と確認を行ってください。  
 なお，お預かりしたデータは，本学術集会終了後に事務局責任のもと，消去いたします。
- ・ 受付時間は，発表 1 時間前までをお願いいたします。

###### 3) 発表形式

- ・ 発表は，すべてパソコンで行います。
- ・ ご用意する PC の OS は Windows XP<sup>®</sup>，アプリケーションソフトは PowerPoint<sup>®</sup> 2003，2007 です。フォントは MS ゴシック，MS 明朝または MSP 明朝等の標準フォントをご使用ください。
- ・ 動画は使用できませんが，アニメーションは使用可能です。また，PC の音声を会場スピーカーから出すことはできません。
- ・ 発表時の画面操作は，ご自身で操作していただきます。

##### 【示説発表をされる方】

###### 1) 事務局準備物品

事務局では，以下の物品を用意いたします。

- ① 1 題あたり，縦200cm × 横90cmの縦長のパネルを用意します。
- ② 20cm × 20cmの演題番号をパネル左上部に表示いたします。
- ③ ポスター貼付用に画鋏を用意します（テープや糊は使用できません）。

画鋏は，示説発表用パネルに用意いたします。会場で入り口に紙コップに入れて置いておきますので，1 つずつお持ちください。

###### 2) ポスター作成要領

- ① パネルは縦200cm × 横90cmで，左上部に演題番号（20cm × 20cm）が貼り付けられています。
- ② 本文とは別に，縦20cm × 横70cmの大きさに，演題名・演者（発表者・共同演者）の所属と氏名を記入したものをご準備ください。

###### 3) ポスターの貼り付けおよび取り外し

- ① ポスター掲示時には受付はございません。直接会場にお越しいただき，ご自身で貼り付けをお願いいたします。
- ② ポスターの貼り付けおよび取り外しの時間は，以下の通りです。  
 時間内に完了してください。

8 月 7 日 貼り付け 12 時～14 時／取り外し 17 時 40 分～18 時

8 月 8 日 貼り付け 9 時～10 時 30 分／取り外し 15 時 40 分～16 時 20 分

- ③ 取り外し時間を過ぎた後に掲示してあるポスターは，事務局で処分させていただきます。予めご承知おきください。

###### 4) 発表方法

- ① 発表者は，発表時間 15 分前までに示説会場にお越しいただき，会場入口で受付を済ませてください。受付をされない場合は，第 37 回一般社団法人日本看護研究学会学術集会では未発表とされますので，ご注意ください。

- ② 発表時間前になりましたら、各自のポスター前で待機ください。
- ③ 座長はおりません。発表時間になりましたら、会場内に発表開始のアナウンスをいたします。  
その合図に従って、群ごとの1題目からご発表ください。1演題のご発表は6分以内とし、その後6分以内で質疑応答をしてください。
- ④ 質疑応答では、ご自由に参加者とのディスカッションを行ってください。
- ⑤ 演題ごとに12分経過したところで合図をしますので質疑応答を終了してください。

## 5. 交流集会および特別交流集会に参加される方

交流集会および特別交流集会に参加される方は、直接、各会場にお越しください。

## 6. ランチョンセミナー

8月7日(1日目)のみ、ランチョンセミナーを開催いたします。8月7日10時から、2階エントランスホール総合案内の「ランチョンセミナー受付」にて整理券を配布いたします。先着順に、おひとり様1枚配布し、定員になり次第、終了いたします。

各ランチョンセミナー開始時間までに各会場にお越しいただき、整理券と引き換えに、お弁当をお受け取りください。

## 7. 懇親会

皆様の交流の場として、懇親会を開催いたします。非会員の方もご参加いただけます。

日 時：平成23年8月7日(日)18時～20時

会 場：パシフィコ横浜・会議センター6階・ベイブリッジカフェテリア

参加費：おひとり6,000円

事前登録時に懇親会の申し込みをされた方は、8月7日(日)17時30分までに、2階エントランスホール総合案内の「懇親会受付」(これを過ぎた場合は、懇親会会場前)にて、受付をお済ませください。参加証に貼るシールおよび領収書をお渡しいたします。

当日も、参加を受け付けております。ご希望の方は、8月7日(日)17時30分までに2階エントランスホール総合案内の「懇親会受付」で受付をし、参加費をお支払いください。これを過ぎました場合は、17時30分から懇親会会場前で受付をいたします。多数のご参加をお待ちしております。

なお、手荷物は、懇親会会場のクロークでお預かりいたします。

## 8. その他各種ご案内・お願い

- 1) 会期中、各種協力企業による展示を行います。是非お立ち寄りください。
- 2) 会場内での許可のない講演・口演・ポスター展示の写真撮影および録画・録音は、固くお断りいたします。
- 3) 会場内での呼び出しは原則として行いません。2階エントランスホールの総合案内付近に設置する連絡板をご利用ください。
- 4) 会場内は、指定の場所以外は全て禁煙となっております。
- 5) 会場内での携帯電話、ポケットベルのご使用はご遠慮ください。
- 6) 手荷物はクロークをご利用ください。クロークは、1階にございます。貴重品は各自でお持ちください。  
なお、懇親会に出席される方は、いったん手荷物をお引取りください。

お預り時間：8月7日(日) 8時30分～18時

8月8日(月) 8時30分～17時

- 7) 2階エントランスにトラベルデスクを設けます。観光や宿泊等のご相談を申し受けますのでご利用ください。

## 学術集会参加者の皆様へ

パシフィコ横浜より提供されました地震関連情報（2011年4月18日付）を、許可を得て掲載させていただきました。

2011年4月18日

お客様 各位

パシフィコ横浜  
常務取締役営業部長 桜井 秀夫

### 『東北地方太平洋沖地震』発生における弊社の状況について

（ご報告 4月18日18時現在）

拝啓

東北地方太平洋沖地震により被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。さて、この度の地震による弊社の現況を下記の通りご報告申し上げます。

敬具

記

#### 1. 弊社施設の被害状況

- (1) 弊社建物は基本的に耐震構造となっており、各施設とも機能面での大きな問題は発生しておりません。
- (2) 建物をつなぐ一部の壁（エキスパンション）に亀裂が発生しましたが施設施工業者による緊急点検では構造的には問題無いと判断し、応急修理を終了しております。
- (3) 安全確認の必要性の高いエレベーター、吊りバトン、迫舞台等につきましては専門事業者による点検を3月12日（土）より順次実施し、3月15日（火）に終了いたしました。
- (4) 建物外の敷地部分では海沿いの臨港パーク部分を中心に隆起陥没箇所が発生しており、公園への立ち入りは禁止されております。

#### 2. 周辺状況

- (1) みなとみらい駅、桜木町駅等、最寄りの駅からの弊社へのアクセスには問題ありません。
- (2) 周辺ホテルは通常通り営業しております。

#### 3. ご利用開催状況

地震発生後のご利用につきましては、ホームページでお知らせいたしておりますように中止、延期となる催事が発生しております。一方、予定通り開催の催事も増加傾向にあります。アネックスホール、会議センターでは3月末、国立大ホールでは4月5日、展示ホールにつきましても4月18日より通常のご利用が再開されました。これにより、パシフィコ横浜の全施設を通常通りご利用頂いております。

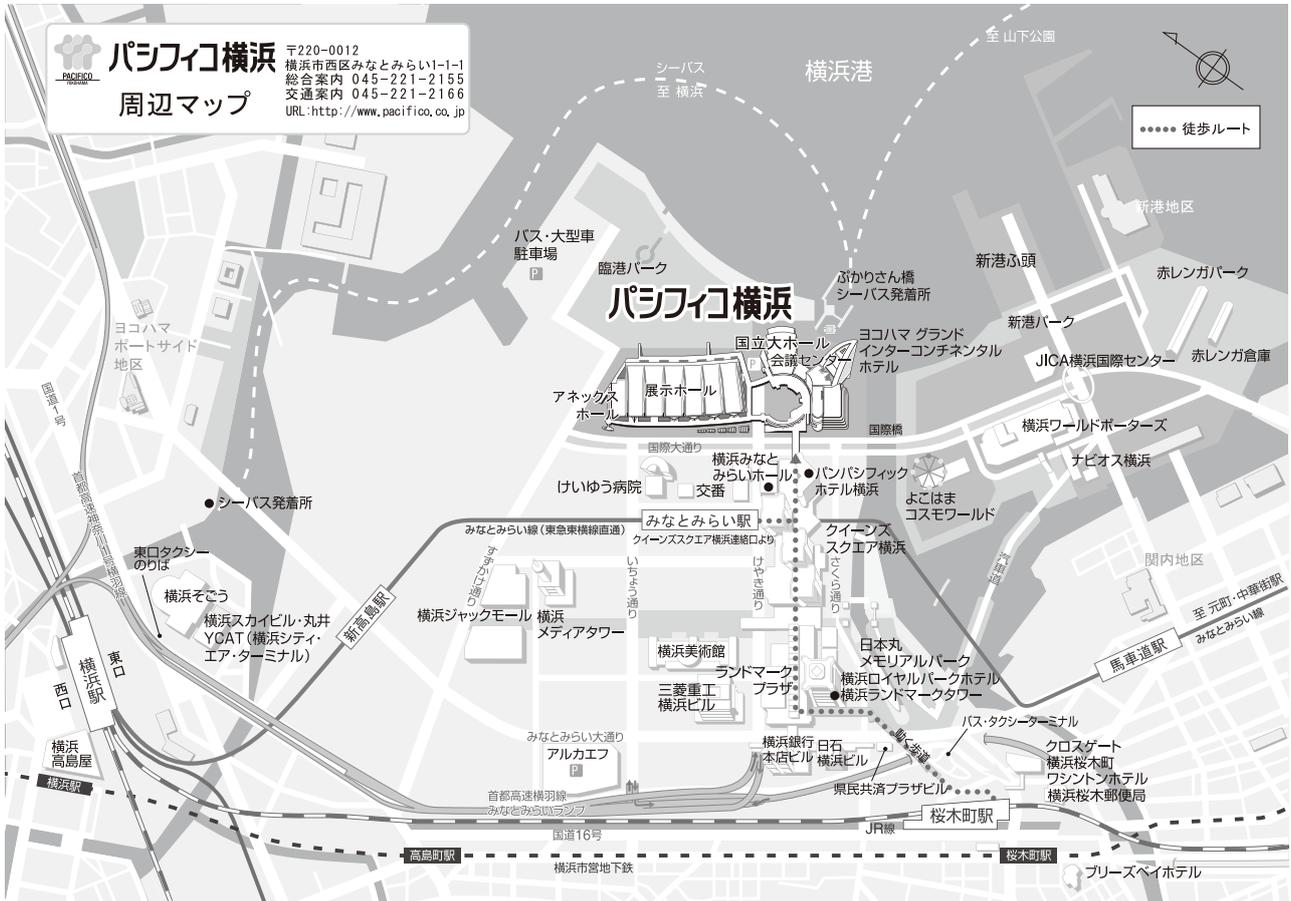
#### 4. 節電対応状況

電力事情を勘案して、共有部分を中心に節電態勢での営業として照明・空調の調整や自販機の一部停止等の措置を取っております、ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

4月8日、東京電力より「計画停電の原則不実施」が発表されました。従来も弊社所在の横浜市西区は対象となっておりませんが、今後、想定される電力総需要抑制への対応を社内で検討開始しております。なお、4月8日付電力需要緊急対策本部の「夏季の電力需給対応の骨格（案）」にある最大使用電力の25%供給抑制措置につきましては、既設の自家発電装置の稼働率アップにより通常のサービス提供は問題無いと判断しております。

以上

# 会場のご案内

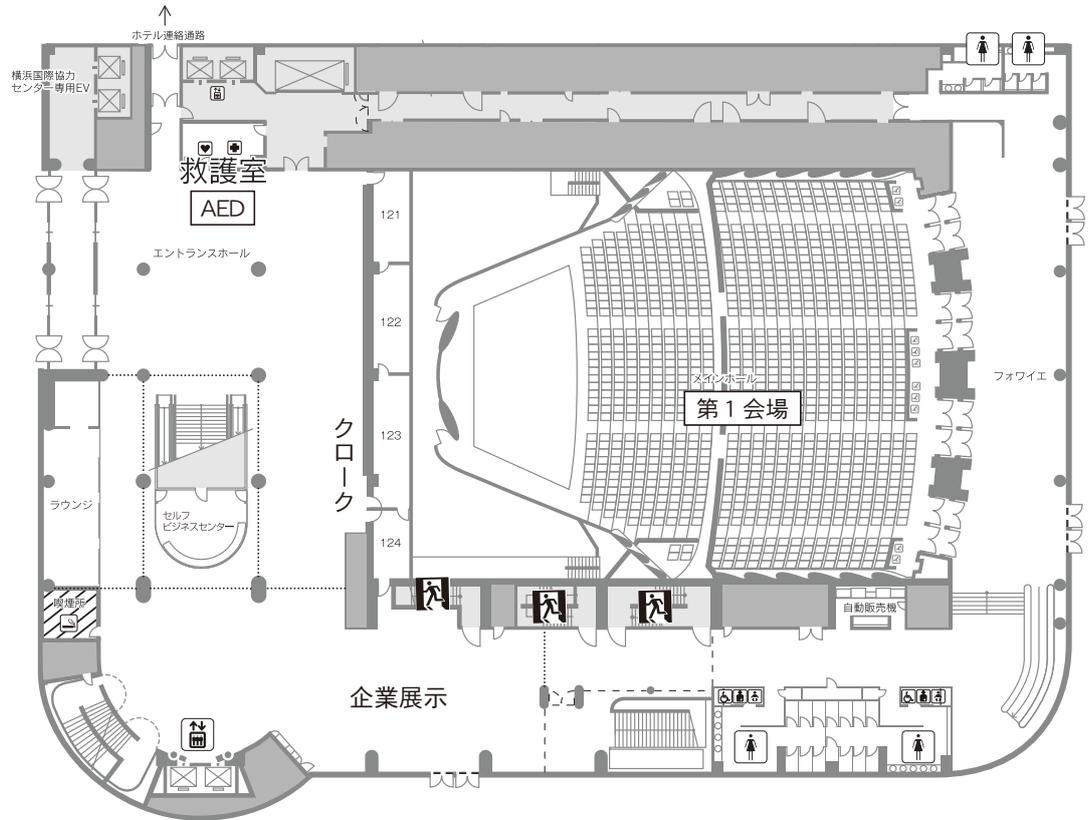


● 交通のご案内

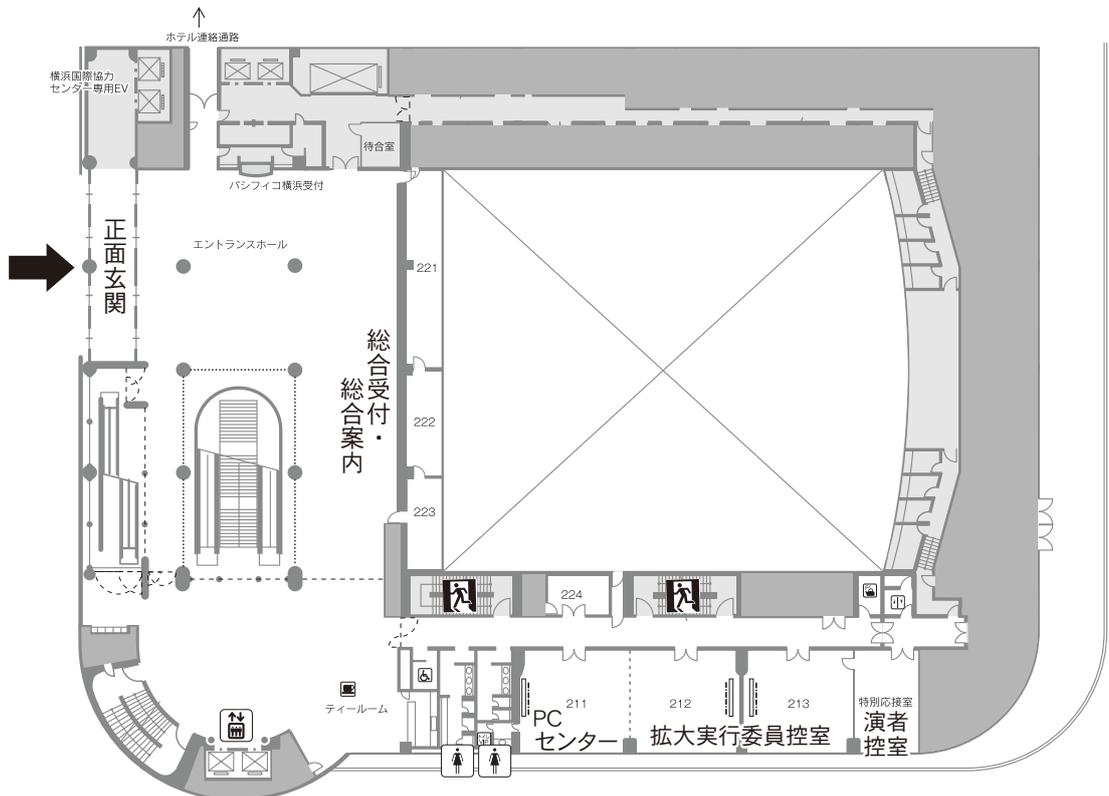
電車で	渋谷駅	東急東横線:特急 (みなとみらい線直通)	27分	横浜駅	みなとみらい線 (東急東横線直通)	3分	みなとみらい駅	徒歩
	新宿駅	JR湘南新宿 ライン	29分		クイーンズスクエア横浜 連絡口 経由			
	東京駅	JR東海道線	25分		タクシー			
	品川駅	京浜急行:快速特急	15分		(東口ボルタ地下2F より)			
	新横浜駅	JR横浜線 3分 菊名駅 東急東横線 6分 (みなとみらい線直通)			JR京浜東北線		徒歩	12分
電車・新幹線で	新横浜駅	JR横浜線 (京浜東北線経由) 横浜市営地下鉄	15分 15分	桜木町駅		徒歩	バス (1番のりばより) タクシー	
	成田空港	JR成田エクスプレス	90分	みなとみらい線 (東急東横線直通)	3分	みなとみらい駅	徒歩	
飛行機で	成田空港	リムジンバス	90分	横浜駅 YCAT (横浜駅東口)	クイーンズスクエア横浜 連絡口 経由			
		京浜急行	24分		赤いエスカレーターで 2Fへ			
	羽田空港	リムジンバス	30分		タクシー (東口 ボルタ地下2F より)			

# ■ 会場案内図

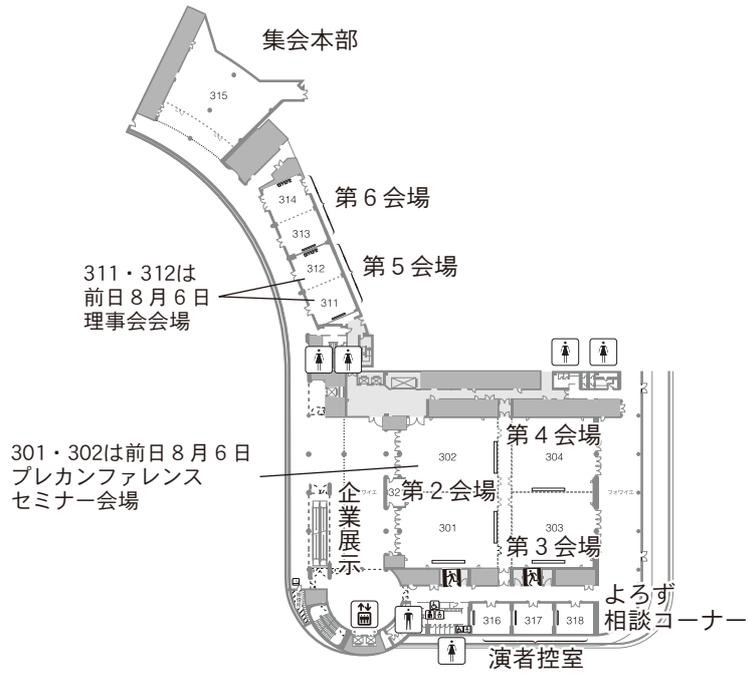
## 1F



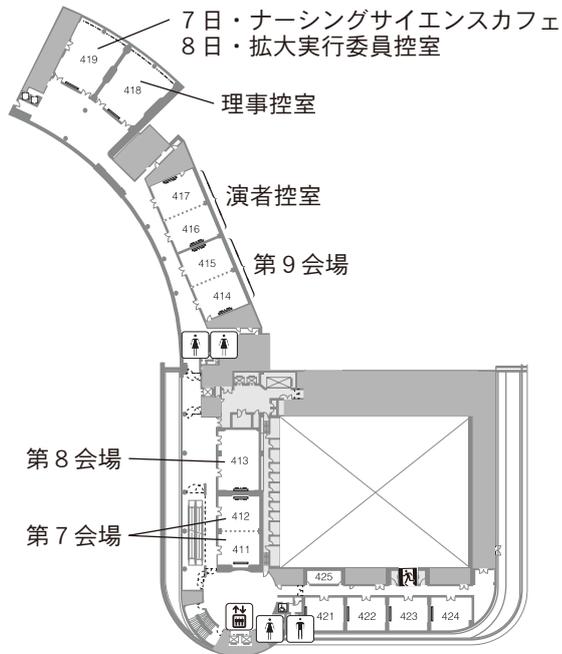
## 2F



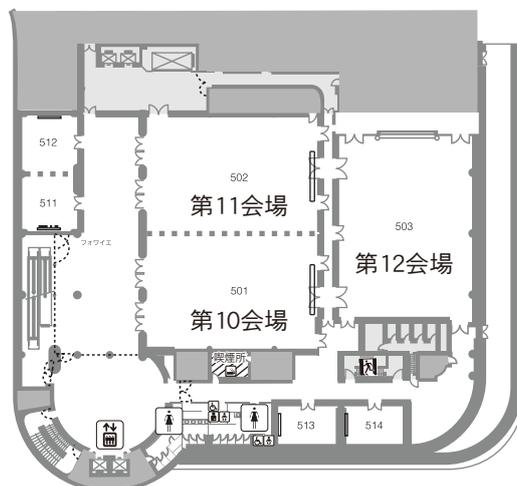
# 3F



# 4F



# 5F



# プログラム

第1日目 平成23年8月7日(日)

時間	プログラム・会場
9:10~9:20	開会の辞 第37回一般社団法人日本看護研究学会学術集会会長 黒田 裕子 会場：第1会場(メインホール)
9:30~11:00	招聘講演 I 「メタ・シンセシス：質的研究をエビデンス階層の正しいレベルに位置づけるのに (同時通訳) 役立つ方法」 Cheryl Tatano Beck (コネチカット大学看護学部教授) 座長：新道 幸恵(日本赤十字広島看護大学学長) 会場：第1会場(メインホール) サテライト(第12会場)
11:00~12:00	教育講演 I 「ナイチンゲールにみる看護の科学性の礎」 演者：金井 一薫(東京有明医療大学看護学部教授) 座長：小山 幸代(北里大学看護学部教授) 会場：第2会場(301・302)
11:00~12:00	一般演題 口演 会場：第3会場(303)/第4会場(304)/第6会場(313・314)/ 第8会場(413)/第9会場(414・415)/第12会場(503)
12:10~13:05	ランチョン セミナー I 「看護における測定用具開発のプロセス」 主催：株式会社医学書院 講師：舟島なをみ(千葉大学教授) 会場：第5会場(311・312)
12:10~13:05	ランチョン セミナー II 「災害看護学はどう生きるか：東日本大震災が投げかけるもの」 主催：株式会社照林社 講師：酒井 明子(福井大学医学部看護学科教授) 会場：第7会場(411・412)
13:10~14:10	総会 会場：第1会場(メインホール)
14:15~15:45	特別講演 I 「看護科学のパラダイム転換と今後の課題 -質的研究を中心に-」 演者：野島 良子 座長：中木 高夫(日本赤十字看護大学教授) 会場：第1会場(メインホール)
14:20~15:20	教育講演 II 「次世代の看護専門職の育成」 演者：井上 智子(東京医科歯科大学大学院教授) 座長：雄西智恵美(徳島大学大学院教授) 会場：第2会場(301・302)
14:20~14:40	奨学会研究発表 「特定高齢者対象の転倒予防教室における運動前の足浴の転倒予防効果の検討」 演者：本多 容子(大阪大学大学院医学系研究科) 座長：泉 キヨ子(帝京科学大学医療科学部看護学科設置準備室) 会場：第3会場(303)
14:20~17:20	特別交流集会 I 「長期意識障害・寝たきり(廃用症候群)患者の生活行動回復看護の技術開発と 成果」 主催：将来構想検討委員会 ファシリテーター：紙屋 克子(静岡県立大学大学院看護学研究科教授) 林 裕子(北海道大学大学院保健科学研究科准教授) 日高紀久恵(筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授) 福良 薫(北海医療大学看護福祉学部講師) 会場：第9会場(414・415)

時 間	プログラム・会場
14:20~15:30	特別交流集会Ⅱ 「英語で論文を書こう」 ここが変ですあなたの英語抄録 -英語らしい表現に近づけるためのポイント- 主催：国際活動推進委員会 講師：原田 裕子（日本キリスト教団伝道師・看護師・看護医療翻訳家） 会場：第12会場（503）
14:20~17:30	看護研究の倫理 研究倫理等の相談 問題よろず 主催：研究倫理委員会 相談コーナー 会場：3階海側ロビー
14:20~17:30	Nursing Science 先輩と話そう！ナースのお仕事エトセトラ Café in 横浜 企画：中木 高夫（日本赤十字看護大学教授） 永田 明（愛媛大学大学院助教） 大石 朋子（神奈川県立保健福祉大学助教） 会場：4階419
14:20~17:40	一般演題発表 口演 会場：第3会場（303）／第4会場（304）／第5会場（311・312）／ 第6会場（313・314）／第7会場（411・412）／第8会場（413） 示説 会場：第10会場（501）／第11会場（502）
15:30~16:30	教育講演Ⅲ 「看護師の役割拡大：そのベクトル」 演者：小松 浩子（慶應義塾大学大学院教授） 座長：渡邊 順子（聖隷クリストファー大学看護学部教授） 会場：第2会場（301・302）
15:50~17:50	シンポジウムⅠ 「研究成果を現場で使おう」 シンポジスト：上泉 和子（青森県立保健大学教授） 齋藤やよい（東京医科歯科大学大学院教授） 真田 弘美（東京大学大学院教授） 宇佐美しおり（熊本大学大学院教授） 座長：泉 キヨ子（帝京科学大学医療科学部看護学設置準備室） 飯村 直子（首都大学東京健康福祉学部看護学科教授） 会場：第1会場（メインホール）
16:00~17:30	交流集会Ⅰ 「現場の研究熱を高めよう -終焉への適応の考え方を活用して-」 ファシリテーター：小田 正枝（国際医療福祉大学福岡看護学部教授） 下舞紀美代（国際医療福祉大学福岡看護学部准教授） 安藤 敬子（国際医療福祉大学福岡看護学部講師） 会場：第12会場（503）
16:40~17:40	教育講演Ⅳ 「看護の独自性を位置づける他学との協調」 演者：川口 孝泰（筑波大学大学院教授） 座長：藤井 徹也（聖隷クリストファー大学看護学部教授） 会場：第2会場（301・302）

第2日目 平成23年8月8日(月)

時 間	プログラム・会場
9:30~11:00	招 聘 講 演 II 「方法に限定されるのではなく知識にもたらされる研究プログラムの立案」 (同時通訳) 演者: Cheryl Tatano Beck (コネチカット大学看護学部教授) 座長: 筒井真優美 (日本赤十字看護大学教授) 会場: 第1会場 (メインホール) サテライト (第12会場)
11:10~12:40	特 別 講 演 II 「質的研究は研究する人間をエンパワーできるか - グラウンデッド・セオリー・アプローチ (GTA) の多様化をとおして -」 演者: 木下 康仁 (立教大学社会学部教授) 座長: 山口 桂子 (愛知県立大学看護学部教授) 会場: 第1会場 (メインホール)
11:10~12:40	交 流 集 会 II 「もうひとつの看護の流れを求めて - 遠隔授業方式によるホリスティックナーシング講座の試み -」 ファシリテーター: 小坂橋喜久代 (群馬大学大学院保健学研究科教授) 柳 奈津子 (群馬大学大学院保健学研究科講師) 田淵 祥恵 (群馬県民健康科学大学看護学部講師) 渡辺 岸子 (新潟大学医学部保健学科准教授) 定方恵美子 (新潟大学医学部保健学科准教授) 内山美枝子 (新潟大学医学部保健学科助教) 尾崎フサ子 (佐久大学看護学部教授) 上田 浩 (群馬大学情報メディアセンター准教授) 会場: 第2会場 (301・302)
11:10~12:25	一 般 演 題 口 演 会場: 第3会場 (303) / 第4会場 (304) / 第5会場 (311・312) / 第6会場 (313・314) / 第7会場 (411・412) / 第8会場 (413) / 第9会場 (414・415)
13:40~14:30	会 長 講 演 「研究結果を現場に還元するための看護研究」 演者: 黒田 裕子 (北里大学大学院クリティカルケア看護学教授) 座長: 深井喜代子 (岡山大学大学院教授) 会場: 第1会場 (メインホール)
13:40~15:00	交 流 集 会 III 「家族の力を引き出す, 子どもの力を引き出す看護の技 - 外来での展開 -」 ファシリテーター: 泊 祐子 (大阪医科大学看護学部教授) 竹村 淳子 (大阪医科大学看護学部准教授) 松倉とよ美 (滋賀県立小児保健医療センター看護師) 古株ひろみ (滋賀県立大学人間看護学部准教授) 流郷 千幸 (聖泉大学看護学部教授) 会場: 第2会場 (301・302)
13:30~15:00	特別交流集会III 「研究倫理を考えよう」 主催: 研究倫理委員会 会場: 第8会場 (413)
13:30~15:00	交 流 集 会 V 「新任期保健師の現任教育について考える - 「新任期保健師の活動計画と評価能力育成プログラムの開発」から -」 ファシリテーター: 榎本 妙子 (前明治国際医療大学教授) 植村小夜子 (滋賀県立大学准教授) 田中小百合 (明治国際医療大学准教授) 三橋 美和 (京都府立医科大学講師) 堀井 節子 (京都府立医科大学講師) 徳重あつ子 (明治国際医療大学准教授) 神原 恵 (神戸常盤大学教授) 会場: 第12会場 (503)

時 間	プログラム・会場
13:30~16:45	一般演題発表 口演 会場：第3会場 (303)／第4会場 (304)／第5会場 (311・312)／ 第6会場 (313・314)／第7会場 (411・412)／第8会場 (413)／ 第9会場 (411・415) 示説 会場：第10会場 (501)／第11会場 (502)
14:40~16:40	シンポジウムⅡ 「研究方法論の普遍性と多様性 -さまざまな方法論が目指すエビデンス-」 シンポジスト：黒田 由彦 (名古屋大学大学院環境学研究科教授) 山勢 博彰 (山口大学大学院医学系研究科教授) 西村 ユミ (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授) 中山 和弘 (聖路加看護大学教授) 座長：高橋 眞理 (北里大学大学院看護学研究科長) 浅野みどり (名古屋大学医学部保健学科教授) 会場：第1会場 (メインホール)
15:10~16:40	パネルディスカッション 「現場における研究の活用 -臨床における専門看護師の活躍-」 パネリスト： 近藤まゆみ (北里大学病院看護部がん看護専門看護師) 宇都宮明美 (聖路加看護大学准教授／急性・重症患者看護専門看護師) 長田 暁子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部 小児看護専門看護師) 和田 由樹 (聖マリアンナ医科大学病院看護部慢性疾患看護専門看護師) 座長：小幡 光子 (三重大学大学院医学系研究科教授) 宮腰由紀子 (広島大学大学院保健学研究科教授) 会場：第2会場 (301・302)
15:10~16:40	交流集会Ⅳ 「質的研究をめぐる諸問題 -質的研究の結果は一般化できない?-」 ファシリテーター：谷津 裕子 (日本赤十字看護大学教授) 北 素子 (東京慈恵会医科大学教授) 会場：第9会場 (414・415)
15:10~16:40	交流集会Ⅵ 「看護職が行う口腔ケアの独自性とエビデンス」 ファシリテーター：道重 文子 (大阪医科大学看護学部教授) 鈴木 俊夫 (日本口腔ケア学会理事長) 堀 良子 (新潟県立看護大学看護学部教授) 鎌倉やよい (愛知県立大学看護学部教授) 会場：第12会場 (503)
16:45~16:50	閉会の辞 一般社団法人日本看護研究学会 理事長：山口 桂子 (愛知県立大学看護学部教授) 会場：第1会場 (メインホール)

### 【プレカンファレンスセミナー】

- テーマ1：「研究テーマ絞り込み及び研究計画書作成において陥りやすい問題とその対応」  
黒田 裕子 (北里大学大学院クリティカルケア看護学教授)
- テーマ2：「はじめてのアンケート調査 -エクセルを使った処理の基本-」  
柏木 公一 (国立看護大学校准教授)

日 時：平成23年8月6日 (土) 13時30分~16時45分 (13時開場)  
会 場：パシフィコ横浜・会議センター 3階 301・302  
会 費：5,000円  
2セミナー分の費用で、1つ受講でも料金は同じです。

なお、プレカンファレンスセミナーの事前参加登録をされた方のみ受講できます。事前参加登録されている方は、当日直接会場にお越しください。

# 1日目：2011年8月7日（日）

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
	1階 メインホール	3階 301・302	3階 303	3階 304	3階 311・312	3階 313・314	4階 411・412
8:00							
9:00							
9:10	開会の辞						
9:30-11:00	招聘講演 I (中継) 「メタ・シンセシス:質的研究をエビデンス階層の正しいレベルに位置づけるのに役立つ方法」 Cheryl Tatano Beck 座長:新道幸恵						
10:00							
11:00		11:00-12:00 教育講演 I 「ナースにみる看護の科学性の礎」 金井一薫 座長:小山幸代	11:00-12:00 一般演題 1群 ヘルスプロモーション(1) (4演題) 座長:市村久美子	11:00-12:00 一般演題 2群 急性期看護(1) (4演題) 座長:網島ひづる		11:00-12:00 一般演題 3群 周手術期看護(1) (4演題) 座長:土屋八千代	
12:00							
13:00					12:10-13:05 ランチョンセミナー I 「看護における測定用具開発のプロセス」 舟島なをみ 主催:医学書院		12:10-13:05 ランチョンセミナー II 「災害看護学はどう生きるか」 酒井明子 主催:照林社
13:10-14:10	総会						
14:00							
14:15-15:45	特別講演 I 「看護科学のパラダイム転換と今後の課題」 野島良子 座長:中木高夫	14:20-15:20 教育講演 II 「次世代の看護専門職の育成」 井上智子 座長:雄西智恵美	14:20-14:40 奨学会研究発表 本多容子 座長:泉キヨ子	14:20-15:20 一般演題 7群 急性期看護(2): せん妄関連 (4演題) 座長:柴山健三	14:20-15:20 一般演題 8群 小児・母性看護(1) (4演題) 座長:米田昌代	14:20-15:20 一般演題 9群 周手術期看護(2) (4演題) 座長:石川ふみよ	14:20-15:20 一般演題 10群 看護教育(1) (4演題) 座長:大島弓子
15:00			15:00-16:30 一般演題 12群 感染看護 (6演題) 座長:千田好子				
15:30-16:30	教育講演 III 「看護師の役割拡大:そのベクトル」 小松浩子 座長:渡邊順子		15:30-16:30 一般演題 13群 慢性期看護(1) (4演題) 座長:松下由美子	15:30-16:30 一般演題 14群 小児・母性看護(2) (4演題) 座長:眞鍋えみ子	15:30-16:30 一般演題 15群 がん看護(2) (4演題) 座長:片岡純	15:30-16:30 一般演題 16群 看護教育(2) (4演題) 座長:藤田倫子	
16:00	15:50-17:50 シンポジウム I 「研究成果を現場で使おう」 上泉和子 齋藤やよい 真田弘美 宇佐美しおり 座長:泉キヨ子 飯村直子						
16:40-17:40	教育講演 IV 「看護の独自性を位置づける他学との協調」 川口孝泰 座長:藤井徹也	16:40-17:40 一般演題 18群 医療従事者関連など (4演題) 座長:任和子	16:40-17:40 一般演題 19群 慢性期看護(2) (4演題) 座長:尾岸恵三子	16:40-17:40 一般演題 20群 小児・母性看護(3) (4演題) 座長:塩飽仁	16:40-17:40 一般演題 21群 がん看護(3) (4演題) 座長:森一恵	16:40-17:40 一般演題 22群 看護教育(3) (4演題) 座長:小松万喜子	
17:00							
18:00							
20:00							

第8会場	第9会場	第10会場	第11会場	第12会場	3階 海側ロビー	4階 419	6階 ベイブリッジ カフェテリア
4階 413	4階 414・415	5階 501	5階 502	5階 503			
				<b>招聘講演 サテライト</b>			
11:00-12:00 一般演題 4群 看護師の特性(1) (4演題) 座長: 田中洋子	11:00-12:00 一般演題 5群 医療事故の予防(1) (4演題) 座長: 上田順子			11:00-12:00 一般演題 6群 がん看護(1) (4演題) 座長: 柿川房子			
		12:00-14:00 ポスター貼出し	12:00-14:00 ポスター貼出し				
14:20-15:20 一般演題 11群 看護師の特性(2) (4演題) 座長: 市江和子	14:20-17:20 特別交流会 I 紙屋克子 林裕子 日高紀久恵 福良薫 主催: 将来構想検討委 員会	14:20-15:20 示説 1群, 2群 3群, 4群	14:20-15:20 示説 14群, 15群 16群, 17群 18群	14:20-15:50 特別交流会 II 「ここが変ですあなたの英語 抄録」 原田裕子 主催: 国際活動推進委員会	14:20-17:30 看護研究の倫理 問題よらず相談 コーナー 主催: 研究倫理委 員会	14:20-17:30 Nursing Science café 中木高夫 永田明 大石朋子	
15:30-16:30 一般演題 17群 医療事故の予防(2) (4演題) 座長: 浦田秀子		15:30-16:30 示説 5群, 6群 7群, 8群 9群	15:30-16:30 示説 19群, 20群 21群, 22群	16:00-17:30 交流会 I 「現場の研究熱を高めよう」			
16:40-17:40 一般演題 23群 看護専門職の キャリア発達(1) (4演題) 座長: 丸岡直子		16:40-17:40 示説 10群, 11群, 12群, 13群	16:40-17:40 示説 23群, 24群 25群, 26群 27群	小田正枝 下舞紀美代 安藤敏子			
		17:40-18:00 ポスター取り外し	17:40-18:00 ポスター取り外し				
							18:00-20:00 懇親会

## 2日目：2011年8月8日（月）

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	1階 メインホール	3階 301・302	3階 303	3階 304	3階 311・312
8:00					
9:00					
10:00	9:30-11:00 招聘講演Ⅱ(中継) 「方法に限定されるのではなく知識にもたらされる研究プログラムの立案」 Cheryl Tatano Beck 座長:筒井真優美				
11:00					
12:00	11:10-12:40 特別講演Ⅱ 「質的研究は研究する人間をエンパワーできるか—グラウンデッド・セオリー・アプローチ(GTA)の多様化をとおして」 木下康仁 座長:山口桂子	11:10-12:40 交流会Ⅱ 「もうひとつの看護の流れを求めて」 小坂橋喜久代 柳奈津子 田淵祥恵 渡辺岸子 定方恵美子 内山美枝子 尾崎フサ子 上田浩	11:10-12:10 一般演題 24群 看護教育(4) (4演題) 座長:大津廣子	11:10-12:10 一般演題 25群 終末期看護 (4演題) 座長:神田清子	11:10-12:25 一般演題 26群 精神看護 (5演題) 座長:松田光信
13:00					
14:00	13:40-14:30 会長講演 「研究結果を現場に還元するための看護研究」 黒田裕子 座長:深井喜代子	13:40-15:00 交流会Ⅲ 「家族の力を引き出す,子どもの力を引き出す看護の技」 泊祐子 竹村淳子 松倉とよ美 古株ひろみ 流郷千幸	13:30-14:30 一般演題 31群 看護教育(5) (4演題) 座長:岡山寧子	13:30-14:30 一般演題 32群 終末期・在宅看護 (4演題) 座長:加納佳代子	13:30-14:30 一般演題 33群 健康行動など (4演題) 座長:宇座美代子
15:00	14:40-16:40 シンポジウムⅡ 「研究方法論の普遍性と多様性」 黒田由彦 山勢博彰 西村ユミ 中山和弘 座長:高橋眞理 浅野みどり	15:10-16:40 パネルディスカッション 「現場における研究の活用」 近藤まゆみ 宇都宮明美 長田暁子 和田由樹 座長:小幡光子 宮腰由紀子	14:40-15:40 一般演題 37群 老年・在宅看護 (4演題) 座長:天野瑞枝	14:40-15:40 一般演題 38群 地域看護 (4演題) 座長:小山幸代	14:40-15:40 一般演題 39群 ヘルスプロモーション(2) (4演題) 座長:岩瀬信夫
16:00			15:45-16:45 一般演題 43群 看護情報・国際看護 (4演題) 座長:太田勝正	15:45-16:45 一般演題 44群 終末期看護など (4演題) 座長:掛橋千賀子	15:45-16:45 一般演題 45群 看護研究 (4演題) 座長:藤井徹也
17:00	16:40～次期集会長挨拶 16:45～閉会の辞				

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	第11会場	第12会場
3階 313・314	4階 411・412	4階 413	4階 414・415	5階 501	5階 502	5階 503
				9:00-10:30 ポスター貼出し	9:00-10:30 ポスター貼出し	<b>招聘講演 サテライト</b>
11:10-12:25 一般演題 27群 基礎看護(1) (5演題) 座長:阿曾洋子	11:10-12:10 一般演題 28群 老年看護(1) (4演題) 座長:山田律子	11:10-12:10 一般演題 29群 医療環境・環境看護 など (4演題) 座長:良村貞子	11:10-12:10 一般演題 30群 看護専門職の キャリア発達(2)(4演題) 座長:中木高夫	11:10-12:10 示説 28群, 29群 30群, 31群 32群	11:10-12:10 示説 42群, 43群 44群, 45群	
13:30-14:30 一般演題 34群 基礎看護(2) (4演題) 座長:池田敏子	13:30-14:30 一般演題 35群 老年看護(2) (4演題) 座長:片岡万里	13:30-15:00 特別交流会Ⅲ 「研究倫理を考えよう」 主催:研究倫理委員会	13:30-15:00 一般演題 36群 看護専門職の キャリア発達(3) (6演題) 座長:山田静子	13:30-14:30 示説 33群, 34群 35群, 36群	13:30-14:40 示説 46群, 47群 48群, 49群 50群	13:30-15:00 交流会Ⅳ 「新任期保健師の現任教育 について考える」 榎本妙子 植村小夜子 田中小百合 三橋美和 堀井節子 徳重あつ子 神原恵
14:40-15:40 一般演題 40群 基礎看護(3) (4演題) 座長:石井範子	14:40-15:40 一般演題 41群 老年看護(3) (4演題) 座長:北川公子	15:10-16:40 一般演題 42群 看護教育(6) (6演題) 座長:渡邊順子	15:10-16:40 交流会Ⅳ 「質的研究をめぐる諸問 題」 谷津裕子 北素子	14:40-15:40 示説 37群, 38群 39群, 40群 41群	14:40-15:50 示説 51群, 52群 53群, 54群	15:10-16:40 交流会Ⅵ 「看護職が行う口腔ケアの独 自性とエビデンス」 道重文子 鈴木俊夫 堀良子 鎌倉やよい
15:45-16:45 一般演題 46群 基礎看護(4) (4演題) 座長:真嶋由貴恵	15:45-16:45 一般演題 47群 地域・在宅看護 (4演題) 座長:叶谷由佳			15:40-16:20 ポスター取り外し	15:50-16:20 ポスター取り外し	

● 8月7日 (日) ●

第3会場 第1群 ヘルスプロモーション1 11:00~12:00

座長：市村久美子（茨城県立医療大学）

- 1 20~30代女性の子宮頸がん検診受診の実態  
弘前学院大学看護学部看護学科 ○松尾 泉  
弘前大学大学院保健学研究科 西沢 義子 鍵谷 昭文
- 2 健康維持と青年期の体力との関連  
群馬県立県民健康科学大学 ○眞鍋 知子 高橋 順子
- 3 女性特定高齢者における運動機能向上プログラム実施による効果の検討  
福岡女学院看護大学 ○木室ゆかり
- 4 教育職勤労者における身体活動量と健康意識  
聖泉大学看護学部看護学科 ○小倉 之子 筒井 裕子

第4会場 第2群 急性期看護1 11:00~12:00

座長：網島ひづる（兵庫医療大学看護学部）

- 5 手術室看護師のチームワークと連携活動の関連性  
名古屋大学大学院 ○岡本 麻美 横内 光子
- 6 意識障害により緊急入院した患者に対する緊急開頭術の代理意思決定を行う家族のニーズ  
神戸市立医療センター中央市民病院 ○森田 幸子  
大阪府立大学看護学部 高見沢恵美子  
奈良県立医科大学医学部看護学科 石澤美保子
- 7 終末期の家族による代理意思決定を支援することに対するICU看護師の意識に関連する要因  
福井循環器病院 ○佐藤小百合  
福井大学医学部看護学科 磯見 智恵
- 8 演題取り消し

第6会場 第3群 周手術期看護1 11:00~12:00

座長：土屋八千代（滋慶医療科学大学院大学）

- 9 手術前後の睡眠覚醒リズムと睡眠満足感に関する研究  
佐賀大学医学部看護学科 ○明時由理子 山本しのぶ 藤田 君支 田淵 康子
- 10 胃腫瘍患者を対象としたERAS（術後回復強化プログラム）における補水と意欲の関連  
広島大学病院 ○松本 恵美 川近 葵 沼田かほり 宮野 幸美 木河由紀子

## 一般演題・口演

### 11 熱傷患者の創傷処置の疼痛コントロールの実践と影響要因に関する看護師の認識

市立岸和田市民病院 ○亀井 有子  
大阪府立大学看護学部 高見沢恵美子  
奈良県立医科大学医学部看護学科 石澤美保子

### 12 胃切除手術後患者の食事指導

都立大塚病院 ○谷口 梓

## 第8会場 第4群 看護師の特性1 11:00~12:00

座長：田中 洋子（福岡女学院看護大学）

### 13 看護師の感情労働と情動知能との関連

国際医療福祉大学大学院 ○中村 史江 坪井 良子

### 14 看護職者の自律性に影響を与える要因

福井県立病院 ○林 宏美  
福井大学医学部看護学科 上野 栄一

### 15 看護師の自己充實的達成動機によるモチベーションの比較

獨協医科大学看護学部 ○鈴木 明美 米澤 弘恵 石綿 啓子 佐藤 佳子 遠藤 恭子  
錦織 正子

### 16 救急看護師の道徳的感性の特徴とその関連要因の検討 第1報

大津赤十字病院 ○増田誠一郎  
滋賀医科大学医学部看護学科 瀧川 薫 田中 智美

## 第9会場 第5群 医療事故の予防1 11:00~12:00

座長：上田 順子（旭川医科大学病院）

### 17 病棟における転倒予防に関する倫理的問題の特徴

札幌市立大学看護学部 ○檜山 明子

### 18 新人看護師自身が認識しているインシデント・アクシデントの要因

日本赤十字北海道看護大学 ○山口 佳子 山本 美紀 吉田 理恵 上埜 千春 休波 茂子

### 19 新人看護師のリスク感性に関する検討

日本赤十字北海道看護大学 ○山本 美紀 山口 佳子 吉田 理恵 上埜 千春 休波 茂子

### 20 脳神経外科・神経内科病棟における転倒転落の関連因子

新宮市立医療センター ○大谷 仁美 山川 泰明 筒井 春奈 汐崎 末子 有竹由紀子  
臨床研究支援センター（Office AKI） 山田 一朗

## 一般演題・口演

第12会場 第6群 がん看護1 11:00~12:00

座長：柿川 房子（東京慈恵会医科大学大学院医学研究科）

- 21 化学療法の効果が期待できなくなっている終末期がん性腹膜炎患者の心配ごと  
東京慈恵会医科大学附属病院 ○角田真由美  
東京慈恵会医科大学大学院 柿川 房子  
慈恵看護専門学校 千田 操
- 22 非小細胞肺癌患者への心理的な看護介入の試み - 初回治療前後の認知評価, 対処法の変化による検討 -  
鳥取大学医学部附属病院 ○岡本 愛  
鳥取大学 森本美智子
- 23 進行がん患者の家族が抱える苦しみの検討  
群馬大学医学部保健学科 ○瀬山 留加 武居 明美 神田 清子
- 24 在宅においてインフューザーポンプによる化学療法を受けている進行・再発大腸がん患者の体験  
東京医科大学病院 ○川島美由紀

第4会場 第7群 急性期看護2：せん妄関連 14:20~15:20

座長：柴山 健三（椋山女学園大学看護学部看護学科）

- 25 一般外科領域における術後せん妄発症予測要因の検討 - 経験豊富な看護師へのインタビューより -  
三重県立看護大学大学院看護学研究科 ○松浦 純平  
四日市看護医療大学看護学部看護学科 福田 弘子  
福井大学医学部看護学科 上野 栄一
- 26 術後せん妄に関連した術後睡眠覚醒リズムの特徴  
目白大学看護学部看護学科 ○石光美美子  
東京医科歯科大学大学院 佐藤 千史
- 27 せん妄患者の身体抑制に伴う看護師の判断とジレンマ  
昭和大学保健医療学部看護学科 ○古澤 千帆 大木 友美
- 28 看護師のせん妄の予防に対する意識と判断に関する研究  
昭和大学保健医療学部看護学科 ○山下恵梨子 大木 友美

第5会場 第8群 小児・母性看護1 14:20~15:20

座長：米田 昌代（石川県立看護大学）

- 29 看護師の更年期の自覚と心身の要因  
藍野大学医療保健学部看護学科 ○廣田美喜子

- 30 産後うつ病予測尺度 (Postpartum Depression Predictors Inventory-Revised) 日本語版の開発  
東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野 ○池田 真理 上別府圭子
- 31 母親のストレス対処能力と育児不安, 精神健康度との関連  
香川県立保健医療大学看護学科 ○榮 玲子 植村 裕子 松村 恵子 竹内美由紀  
野口 純子 宮本 政子
- 32 養育期の親のQOL自己評価尺度の開発 - 因子的妥当性の検討 -  
中部大学保健看護学科 ○大橋 幸美  
名古屋大学医学部保健学科 浅野みどり 吉田久美子 新家 一輝  
名古屋市立大学看護学部 門間 晶子  
名古屋大学大学院医学系研究科 古澤亜矢子 山本 真実 森 阿紀子 山口知香枝

第6会場 第9群 周手術期看護2 14:20~15:20

座長: 石川ふみよ (東京工科大学医療保健学部看護学科)

- 33 開腹術後患者における早期離床を促進する看護師の判断のプロセス  
岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻 ○柴 裕子  
岐阜大学医学部看護学科 松田 好美
- 34 結腸がん患者の手術からの回復過程における初回外来までの体験  
静岡県立大学大学院看護学研究科 ○水越 秋峰  
静岡県立大学看護学部 白尾久美子
- 35 人工関節全置換術を受ける患者の睡眠・覚醒リズムに関する研究  
佐賀市立富士大和温泉病院 ○山本しのぶ  
佐賀大学医学部看護学科 明時由理子 田淵 康子 藤田 君支
- 36 成人女性における人工股関節全置換術 (THA) に対する意思決定  
富山病院附属看護学校 ○藤森かおる  
帝京科学大学医療科学部看護学科 泉 キヨ子  
金沢大学医薬保健研究域保健研究域保健学系 平松 知子

第7会場 第10群 看護教育1 14:20~15:20

座長: 大島 弓子 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科)

- 37 看護専門学校における教員の教育ニーズと影響要因  
中部大学生命健康科学部保健看護学科 ○嶋崎 和代
- 38 チーム基盤型学習法 (Team Based Learning: TBL) を導入した授業の教育効果  
高知大学大学院総合人間自然科学研究科看護学専攻 ○和田 庸平 織田 知穂  
高知大学教育研究部医療学系医学部門 尾原喜美子

39 模擬患者を活用した臨床看護師のコーチングスキルトレーニングの効果

国民健康保険関ヶ原病院 ○柴田万智子  
中部大学 山口 直巳  
聖隷クリストファー大学 篠崎恵美子

40 模擬患者（SP）として成人看護学の事例演習に協力する地域住民の経験

東海大学健康科学部看護学科 ○小島 善和 庄村 雅子 佐藤 幹代

第8会場 第11群 看護師の特性2 14:20~15:20

座長：市江 和子（聖隷クリストファー大学看護学部）

41 進学コース卒看護師1年目の体験

島根県立松江高等看護学院 ○浜田美由紀  
島根大学医学部看護学科 内田 宏美 長田 京子 津本 優子

42 新人看護師の精神的健康状態に影響を与える職務ストレスの検討

滋賀医科大学医学部附属病院 ○安藤 光子 澤井 信江 餅田 敬司  
社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院 木村 里美

43 フロー理論に基づく新人看護師の心理的発達の様相

大阪府立大学大学院看護学研究科 ○井上 奈々  
大阪府立大学看護学部 細田 泰子 星 和美

44 新人看護師が困難になる多重課題場面 -看護管理者への調査から-

日本赤十字広島看護大学看護学部看護学科  
○川西 美佐 眞崎 直子 山村 美枝 村田 由香 中信利恵子  
笹本 美佐 小園由味恵 奥村ゆかり 中村もとゑ

第3会場 第12群 感染看護 15:00~16:30

座長：千田 好子（山陽学園大学看護学部）

45 エタノール綿を用いた塗擦消毒効果の再検討 part 2

福岡県立大学看護学部基盤看護学系 ○芋川 浩

46 クリーンルームを使用する造血器腫瘍患者の感染予防に対する認識

諏訪中央病院看護部 ○伊勢田孝子

47 手指衛生教育プログラムの開発に向けた幼児の手洗い行動に関する実態調査

山陽学園大学看護学部看護学科 ○中田 涼子 林 由佳 福川 京子 中尾 美幸  
千田 好子

48 ハンドケア製剤が消毒効果に与える影響に関する基礎的検討

富山大学大学院医学薬学研究部（医） ○吉井 美穂 澤田 陽子 山口 容子  
富山福祉短期大学看護学科 境 美代子

## 一般演題・口演

### 49 看護師の手指衛生行動の動機づけスタイル

大分大学医学部附属病院看護部・感染制御部 ○赤峰みすず  
大分大学医学部看護学科臨床看護学講座 脇 幸子 福井 幸子

### 50 「手洗い前後の手指の細菌培養」を取り入れた手指衛生に関する演習効果の質的分析

弘前大学大学院保健学研究科 ○會津 桂子 小倉能理子 西沢 義子 佐藤真由美  
工藤せい子 安杖 優子 横田ひろみ  
弘前大学医学部附属病院 小林 朱実 増田 育子

## 第4会場 第13群 慢性期看護1 15:30~16:30

座長：松下由美子（山梨県立大学看護学部）

### 51 在宅非侵襲的陽圧換気療法を行っている慢性呼吸不全患者のセルフケア獲得プロセス

みやぎ県南中核病院 ○霜山 真  
山形大学医学部看護学科 古瀬みどり

### 52 慢性C型肝炎患者の疲労感・QOLと身体活動量の実態調査と影響要因

佐賀大学医学部医学系研究科看護学専攻 ○清原智佳子  
佐賀大学医学部看護学科 古賀 明美 藤田 君支

### 53 慢性腎臓病患者における薬物療法に対する自己管理行動アセスメント指標の開発

愛知県立大学大学院看護学研究科 ○日比野友子  
愛知県立大学看護学部 深田 順子 鎌倉やよい  
名古屋第二赤十字病院 片岡笑美子  
名古屋第一赤十字病院 小森 和子

### 54 インターフェロン療法を提案されたC型慢性肝炎患者の意思決定とその関連要因

京都大学医学部附属病院 ○片山 泰佑  
大阪府立大学大学院看護学研究科 旗持知恵子

## 第5会場 第14群 小児・母性看護2 15:30~16:30

座長：眞鍋えみ子（京都府立医科大学医学部看護学科）

### 55 初妊婦の授乳への意思に影響を与える社会規範

日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程 ○濱田真由美

### 56 助産師が医師と協働で妊婦健康診査を行うことについて抱く思い

日本赤十字看護大学大学院看護学研究科国際保健助産学専攻 ○鷹巣結香里

## 一般演題・口演

- 57 妊娠から出産後1年までの気分状態の推移 - 妊産褥婦, 育児中の母親を対象とした縦断的質問紙調査(1)-  
九州看護福祉大学看護福祉部 ○原田 美智  
埼玉医科大学保健医療学部看護学科 松下 年子 岡部 恵子 坂口由紀子 宇賀神恵理  
田中 瞳  
成増産院 藤田佳代子  
浜の町病院 神坂登世子
- 58 妊娠から出産後1年までのQOLの推移 - 妊産褥婦, 育児中の母親を対象とした縦断的質問紙調査(2)-  
埼玉医科大学保健医療学部看護学科 ○坂口由紀子 松下 年子 岡部 恵子 田中 瞳  
宇賀神恵理  
九州看護福祉大学 原田 美智  
成増産院 藤田佳代子  
浜の町病院 神坂登世子

### 第6会場 第15群 がん看護2 15:30~16:30

座長: 片岡 純 (愛知県立大学看護学部)

- 59 外来化学療法を受けているがん患者の疼痛とそれに伴うセルフマネジメント  
新潟厚生連長岡中央総合病院 ○三浦一二美  
新潟県立看護大学 石田 和子
- 60 胃がん術後患者の症状と家族のQOLおよび不安との関連  
山梨大学医学部附属病院 ○永田 倫人  
山梨大学医学工学総合研究部 水野恵理子
- 61 初回治療の段階にある原発性悪性脳腫瘍患者の体験  
敦賀市立看護専門学校 ○梅田 尚子  
福井大学医学部看護学科 岩田 浩子
- 62 手術後10年までの乳がん患者の乳房再建・性生活に関する認識  
奈良県立医科大学医学部看護学科 ○高井 俊子

### 第7会場 第16群 看護教育2 15:30~16:30

座長: 藤田 倫子 (福山平成大学看護学部看護学科)

- 63 基礎看護学実習のプロセスにおける学生のコミュニケーションに対する学びの深化  
飯田女子短期大学看護学科 ○鈴木真由美
- 64 看護系大学生の臨地実習におけるレジリエンスの構成要素  
大阪府立大学大学院看護学研究科 ○隅田 千絵  
大阪府立大学看護学部 細田 泰子 星 和美
- 65 臨地実習における看護学生のコミュニケーション能力の分析と実習教育の考察  
熊本医療センター附属看護学校 ○田上美香子

## 一般演題・口演

### 66 看護学生のレジリエンス育成に向けた教育の検討

熊本大学大学院保健学教育部・社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 ○河野 真美  
熊本大学大学院生命科学研究部 森田 敏子

### 第8会場 第17群 医療事故の予防2 15:30~16:30

座長：浦田 秀子（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

### 67 医療安全行動に影響を及ぼす要因と師長の役割について

中京学院大学看護学部看護学科 ○相撲佐希子  
愛知医科大学看護学部 鈴木 初子

### 68 リスク感性が高い看護師の直観能力の評価

国立病院機構長崎医療センター ○佐々木真由美  
長崎県立大学大学院人間健康科学研究科 立石 憲彦

### 69 インシデント報告書に対する看護師長の対応を決定づける要因

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター附属看護学校 ○前中 由美

### 70 医療安全管理推進者と共にすすめる安全管理シミュレーション教育の効果

京都府立医科大学医学部看護学科 ○滝下 幸栄 岩脇 陽子 山本 容子 松岡 知子

### 第3会場 第18群 医療従事者関連など 16:40~17:40

座長：任 和子（京都大学医学研究科）

### 71 医療従事者の疲労の程度とストレス対処行動様式による差異

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻健康科学・基礎看護学  
○城賀本晶子 赤松 公子 平井 亜弥 蘇 静 宮脇 和美  
NPO法人食品治療学研究所 山田 典子 吉村 裕之  
恩賜財団済生会松山病院看護部 河野 陽子  
松山看護専門学校 山本 唱子

### 72 介護老人福祉施設での看護職と介護職のターミナルケアへの取り組み

明治国際医療大学看護学部 ○青田 正子  
滋賀医科大学大学院看護学科 太田 節子

### 73 家族間の意志の不一致への看護援助に関する研究

国立病院機構北海道がんセンター ○秋葉 沙織  
秋田組合総合病院 中田 早紀  
秋田大学大学院医学系研究科臨床看護学講座 渡邊 知子

### 74 認定看護師が行う集中治療室入室患者に対する外傷後ストレス障害のアセスメントと予防的介入

兵庫医科大学病院 ○岡崎 理絵  
大阪府立大学看護学部 高見沢恵美子  
奈良県立医科大学医学部看護学科 石澤美保子

第4会場 第19群 慢性期看護2 16:40~17:40

座長：尾岸 恵三子（日本赤十字秋田看護大学）

- 75 代謝循環器系外来看護における簡易問診票からリスク指数の検討  
元国際医療福祉大学大学院 ○関 美奈子
- 76 高血圧症患者の日常生活自己管理尺度の作成  
富山大学大学院医学薬学研究部 ○坪田 恵子  
金沢大学医薬保健研究域 稲垣美智子  
福井大学医学部看護学科 上野 栄一
- 77 虚血性心疾患患者の治療後における身体活動量の変化  
福岡大学医学部看護学科 ○石橋 曜子  
佐賀大学医学部看護学科 藤田 君支 安田加代子
- 78 糖尿病患者教育における患者自身で目標設定するための看護師の関わり  
昭和大学藤が丘病院 ○唐子 朋恵 寺澤 陽  
昭和大学保健医療学部看護学科 井原 緑

第5会場 第20群 小児・母性看護3 16:40~17:40

座長：塩飽 仁（東北大学大学院医学系研究科）

- 79 未就学児をもつ母親の育児負担感に関連する要因の検討  
山形大学医学部看護学科 ○山口咲奈枝
- 80 採血を受ける子どものためのプレパレーション・アルゴリズムの開発  
山形大学医学部看護学科 ○佐藤 志保 佐藤 幸子  
岩手県立大学看護学部 三上千佳子  
山形大学医学部附属病院 中川 智子 山口 玲子 前田 由美
- 81 長崎県におけるプリパレーション普及の現状と看護師の認識  
長崎県立大学シーボルト校看護栄養学部看護学科 ○林田 りか  
東邦大学医療センター大森病院 江川 千佳
- 82 日本の小児の外来看護に対する家族の満足度に関する文献検討  
旭川大学保健福祉学部保健看護学科 ○伊藤 良子

第6会場 第21群 がん看護3 16:40~17:40

座長：森 一恵（岩手県立大学看護学部）

- 83 舌がん術後患者のソーシャル・サポートおよびその関連要因  
山形大学医学部附属病院 ○武田 理恵  
山形大学医学部看護学科 古瀬みどり

## 一般演題・口演

- 84 超低位前方切除術を受けた患者の術後1か月・6か月における排便機能障害とその対処行動

九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野

○木下由美子 川本利恵子 中尾富士子 宮園 真美 金岡 麻希  
富岡 明子 樗木 晶子 中尾 久子

- 85 放射線治療を受ける口腔癌患者の口内炎と食事摂取に関する研究

弘前大学大学院保健学研究科 ○廣澤 茜 西沢 義子 小倉能理子 山辺 英彰

- 86 化学療法に伴う慢性の末梢神経障害を抱えるがん患者の自律への体験プロセス

群馬大学大学院保健学研究科 ○武居 明美 瀬山 留加 神田 清子

### 第7会場 第22群 看護教育3 16:40~17:40

座長：小松万喜子（愛知県立大学看護学部）

- 87 看護教育者と臨床看護師における看護学教育に対する認識およびカリキュラム作成の課題に関する研究

宝塚大学看護学部 ○澤田 京子

大阪教育大学大学院人間生態学研究室 山川 正信

- 88 人事交流による看護基礎教育と臨床との教育連携強化

京都府立医科大学医学部看護学科 ○岡山 寧子 三橋 美和 堀井 節子 眞鍋えみ子

京都府立医科大学看護実践キャリア開発センター 倉ヶ市絵美佳

京都府立医科大学附属病院看護部 橋元 春美 今村 浪子

- 89 看護系大学教員のストレス - NIOSH職業性ストレス評価尺度を含む自記式質問紙調査 -

埼玉医科大学保健医療学部看護学科 ○松下 年子 本谷久美子 大澤 優子

長崎県立大学看護栄養学部 河口 朝子

九州看護福祉大学看護福祉学部 原田 美智

- 90 看護系大学に所属する若手教員の学習ニーズとその関連要因

大阪府立大学大学院看護学研究科 ○土肥 美子

大阪府立大学看護学部 細田 泰子 星 和美

### 第8会場 第23群 看護専門職のキャリア発達1 16:40~17:40

座長：丸岡 直子（石川県立看護大学）

- 91 看護師の組織貢献度意識測定尺度作成の試み

福井総合病院 ○吉江由加里

福井医療短期大学看護学科 藤本ひとみ 高間 静子

- 92 認定看護師のキャリア発達における内的体験

富山県済生会富山病院看護部 ○三輪 恵里

- 93 感情労働者としての看護師の「怒り」の感情管理

財団法人田附興風会医学研究所北野病院 ○岸 あゆみ

## 一般演題・口演

- 94 看護系大学を卒業した看護職者の職業準備行動の実態報告  
札幌市立大学看護学部 ○山内まゆみ  
旭川医科大学医学部看護学科 伊藤 幸子

### ● 8月8日 (月) ●

第3会場 第24群 看護教育4 11:10~12:10

座長：大津 廣子 (愛知県立大学看護学部)

- 95 成人看護学領域の看護教育における看護過程演習の評価 - 学生の自己評価からの分析 -  
富山大学医学薬学研究部看護学科 ○四十竹美千代 安東 則子 八塚 美樹
- 96 看護学教育におけるコミュニケーション技術の習得に関する調査 第1報  
中部大学 ○上田ゆみ子  
聖隷クリストファー大学 渡邊 順子
- 97 患者の内面への関心の寄せ方について - 看護過程実習における学生のプロセスレコード分析を通して -  
福岡女学院看護大学 ○岡尾 麻紀 窪田 恵子 吉武美佐子 青木 久恵 藤川 真紀  
宮原 綾子
- 98 模擬患者 (SP) 参加型看護技術演習における学習効果  
鳥根県立大学短期大学部看護学科 ○松本玄智江 吉川 洋子 田原 和美 柴 麻由子  
平井 由佳

第4会場 第25群 終末期看護 11:10~12:10

座長：神田 清子 (群馬大学大学院保健学研究科)

- 99 一般病棟における終末期がん患者の生きがい  
慈恵柏看護専門学校 ○千田 操  
東京慈恵会医科大学附属病院 角田真由美  
東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻修士課程 柿川 房子
- 100 終末期がん患者の“今を生きる”意味を探る  
厚生連滑川病院 ○長 光代 藤森 敦子  
富山福祉短期大学看護学科 一ノ山隆司  
臨床研究支援センター 山田 一朗
- 101 学習会による「家族参加型エンゼルケア (FAC)」実施率の変化と、FAC実施の背景要因  
桜橋渡辺病院 ○徳永 里絵 葛西 泰香 山田 君代  
臨床研究支援センター (Office AKI) 山田 一朗
- 102 終末期肺がん患者家族とのコミュニケーションにおける看護師の困難感  
神奈川県立循環器呼吸器病センター ○山口かおり 齊木由紀子

## 一般演題・口演

第5会場 第26群 精神看護 11:10~12:25

座長：松田 光信（神戸常盤大学保健科学部看護学科）

- 103 精神障がい者の支援行動と精神科看護師の特性との関連  
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 ○多田羅光美 國方 弘子
- 104 自殺を考えた経験の有無によるサポートに関する状況の違い  
三重県立看護大学看護学部看護学科 ○羽田 有紀
- 105 長期入院生活を送る統合失調症患者の生き方を支えている要因  
北里大学東病院看護部 ○濱田万寿代  
北里大学看護学部 出口 禎子
- 106 統合失調症者における精神障害者観と統合失調症の知識との関連  
筑波大学大学院人間総合科学研究科看護科学専攻 ○大森 圭美 森 千鶴
- 107 自殺企図を繰り返すうつ病をもつ人に対する病棟での予防的看護介入の検討  
福岡県立大学 ○坂田志保路

第6会場 第27群 基礎看護1 11:10~12:25

座長：阿曾 洋子（大阪大学大学院医学系研究科）

- 108 色彩環境が対象者に与える影響－血圧・脈拍・皮膚温，状態不安を測定して  
札幌医科大学附属病院 ○高瀬 良太  
弘前大学大学院保健学研究科 横田ひろみ 工藤せい子
- 109 手のタクティールケアによるリラクゼーション効果の検証  
福井大学医学部医学系研究科 ○天野 真希  
福井大学医学部看護学科 長谷川智子 礪波 利圭 上原 佳子 佐々木百恵 吉田華奈恵
- 110 機能的MRIを用いたリラクゼーション技法の脳生理学的評価  
群馬大学大学院保健学研究科 ○小林しのぶ 柳 奈津子 小板橋喜久代
- 111 フットサウナ使用時の入院患者の生理・心理反応 ～睡眠へ焦点を当てて～  
九州大学大学院医学研究院保健学部門 ○宮園 真美 樗木 晶子 川本利恵子 中尾 久子  
中尾富士子 木下由美子 金岡 麻希 富岡 明子
- 112 ヘッドトリートメントによるリラクゼーション効果の検証 ～健康女性を対象とした介入比較研究～  
京都府立医科大学医学部看護学科 ○室田 昌子 北島 謙吾 岩脇 陽子  
京都橘大学看護学部 松本 賢哉

- 113 在宅認知症高齢者の急変時対応事例に関する検討 - 家族介護者の思いに着目して -  
川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科 ○松本 啓子  
福山平成大学看護学部看護学科 名越 恵美  
岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科 桐野 匡史
- 114 在宅認知症高齢者の急変時対応に関する研究 - 救命救急センター看護師の思い -  
福山平成大学看護学部看護学科 ○名越 恵美  
川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科 松本 啓子  
岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科 桐野 匡史
- 115 認知症高齢者グループホーム利用者の3年間の精神状態・日常生活動作自立度の変化とその関連要因  
北里大学看護学部 ○小山 幸代 綿貫恵美子 シェザード樽塚まち子 片井美菜子  
東京工科大学医療保健学部看護学科 小林小百合
- 116 在宅で認知症高齢者を介護する家族が抱えている介護保険への思いと求めている支援  
帝京大学医療技術学部看護学科 ○岸 恵美子  
日本赤十字看護大学看護学部看護学科 グライナー智恵子 松尾 香奈  
三重大学医学部看護学科 磯和 勅子  
神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科 大石 朋子  
東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻博士後期課程 深堀 敦子  
聖母大学看護学部看護学科 島田 夏子

- 117 患者満足度調査から病院環境改善への優先度を洗練させる取り組み  
聖泉大学看護学部看護学科 ○餅田 敬司  
新見公立大学看護学部看護学科 澤田 由美
- 118 看護職へのクレームに関する測定尺度の作成  
三重県立看護大学 ○平田 育世 若林たけ子 小池 敦
- 119 老人福祉施設における施設経営に関する意識調査  
株式会社両備ヘルシーケア ○岡本 辰夫 小山 嘉紀
- 120 内容分析による最近の診療報酬の特徴  
福井大学医学部看護学科 ○上野 栄一  
富山福祉短期大学看護学科 一ノ山隆司  
新田塚医療福祉センター福井病院 明神 一浩  
奈良県立医科大学医学部看護学科 松浦 純平 上平 悦子

第9会場 第30群 看護専門職のキャリア発達2 11:10~12:10

座長：中木 高夫（日本赤十字看護大学）

- 121 中堅看護師のセルフマネジメント能力とその関連要因  
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス ○柴 麻由子  
島根大学医学部看護学科 内田 宏美 長田 京子 津本 優子
- 122 キャリア発達段階の異なる中堅看護師の病院内異動の経験  
小樽商科大学大学院商学研究科 ○吉田 祐子  
北海道大学大学院保健科学研究院 良村 貞子 青柳 道子 岩本 幹子
- 123 看護職のチームワークと組織的環境との関連についての検討  
三重県立看護大学 ○井上 直子 若林たけ子 斎藤 真 玉田 章
- 124 4年目の精神科看護師のキャリア認識 -精神科病院で働く看護師へのインタビューを通して-  
神奈川県立精神医療センター芹香病院 ○石田 正人  
北里大学看護学部 出口 禎子

第3会場 第31群 看護教育5 13:30~14:30

座長：岡山 寧子（京都府立医科大学医学部看護学科）

- 125 2年目看護師の就職後1年6か月の体験からの成長の促進因子と阻害因子の明確化  
静岡県立大学看護学部 ○白尾久美子  
愛知県立大学看護学部 山口 桂子
- 126 新人看護師教育へのシミュレーション教育の導入 ~教育担当者によるシミュレーション教育の実践と評価~  
京都府立医科大学附属病院 ○中畠真知子 曾我 典子 倉ヶ市絵美佳  
京都府立医科大学医学部看護学科 笹川 寿美 光木 幸子
- 127 eラーニングを活用した新卒看護師教育方法  
大阪府済生会茨木病院 ○三好 純子 伊津美孝子  
大阪府立大学総合教育研究機構 真嶋由貴恵
- 128 緊急被ばく医療研修による看護師の放射線リスク認知の変化  
弘前大学大学院保健学研究科 ○井瀧千恵子 富澤登志子 扇野 綾子 會津 桂子

第4会場 第32群 終末期・在宅看護 13:30~14:30

座長：加納佳代子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部）

- 129 がん患者が病気の体験に肯定的な意味を見出すBenefit Findingとスピリチュアリティとの関連  
聖マリア学院大学看護学部看護学科 ○安藤 満代 久木原博子  
内藤病院 林田 繁

130 緩和ケアにおけるスピリチュアルの概念について

ホスピスライフサポート株式会社 ○江口 富子  
福井大学医学部看護学科 上野 栄一

131 在宅ターミナルに関する病棟看護師の認識と影響要因 - 望む看取りを支援するには -

畿央大学 ○河野 由美

132 がん患者の在宅療養に向けた地域連携支援システムの構築

名古屋大学医学部保健学科 ○大川 明子 安藤 詳子  
北里大学大学院医療系研究科 梅田 徳男  
公立学校共済組合東海中央病院 澤井 美穂  
中京学院大学看護学部 高畑 正子

第5会場 第33群 健康行動など 13:30~14:30

座長：宇座美代子（琉球大学医学部保健学科）

133 看護学生の看護職イメージ

岐阜保健短期大学 ○留田 由美  
自治医科大学 塚原 節子

134 中学生の飲酒行動と規範意識の関連

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター ○菅原 裕美  
了徳寺大学健康科学部看護学科 大迫 哲也  
筑波大学大学院人間総合科学研究科 森 千鶴

135 中学生の規範意識と家族の喫煙・飲酒行動の関連

了徳寺大学健康科学部看護学科 ○大迫 哲也  
独立行政法人下総精神医療センター 菅原 裕美  
筑波大学大学院人間総合科学研究科 森 千鶴

136 変化のステージモデルを用いた禁煙教育による行動変容についての検討

佐賀大学医学部附属病院 ○富松 千恵  
福岡県立大学 中野 榮子 山名 榮子 東 あゆみ  
元福岡県立大学 中條 雅美

第6会場 第34群 基礎看護2 13:30~14:30

座長：池田 敏子（岡山大学大学院保健学研究科）

137 心肺蘇生時の術者が好むベッドの高さと胸骨圧迫特性に関する研究

三重県立看護大学看護学部看護学科 ○長谷川智之 玉田 章 斎藤 真

138 心肺蘇生法の胸骨圧迫練習に音楽を使用する効果

三重県立看護大学看護学部看護学科 ○竹山 育恵 長谷川智之 脇坂 浩 斎藤 真  
玉田 章

## 一般演題・口演

### 139 一次救命処置演習の教育効果と事前学習

高知大学教育研究部医療学系看護学部門 ○寺下憲一郎 高橋 永子 山脇 京子 青木 早苗  
小松 輝子

### 140 施設入所者の関節拘縮改善に対する用手微振動・ムーブメントプログラムの適用

静岡県立大学看護学研究科 ○渡邊江身子 池田万喜子 紙屋 克子

## 第7会場 第35群 老年看護2 13:30~14:30

座長：片岡 万里（高知大学大学院）

### 141 高齢者福祉施設入所者の食行動に関する研究－摂食時間と咀嚼における成人女性との比較

中京学院大学看護学部看護学科／金城学院大学大学院人間生活学研究科 ○穴井 美恵

### 142 在宅高齢者の栄養状態 ～A地区における実態調査～

富山大学大学院医学薬学研究部 ○道券夕紀子 吉井 忍 寺西 敬子 安田 智美

### 143 経腸栄養施行中の高齢患者に対する経口摂取へのアプローチ ～看護としての役割とは～

医療法人社団星晶会 ○稲野 聖子

### 144 廃用症候群の高齢者の経口摂取に向けたアセスメントツール作成の試み：第一報

北海道大学大学院保健科学研究院 ○大内 潤子 林 裕子  
同交会病院 中島かすみ

## 第9会場 第36群 看護専門職のキャリア発達3 13:30~15:00

座長：山田 静子（藤田保健衛生大学医療科学部看護学科）

### 145 病院看護管理者のキャリア開発経験に関する研究

京都府立医科大学大学院保健看護研究科 ○西川 秋子

### 146 看護職者の職業継続に関する実態と意識－団塊世代の看護職者への質問紙調査より－

弘前医療福祉大学 ○関口 恵子

### 147 急性期病院に勤務する中堅看護師の就職継続支援の特徴

岡山済生会総合病院 ○茅原 路代

### 148 看護師のキャリア発達と組織コミットメントが職務満足に与える影響の検討

新田塚医療福祉センター福井病院 ○明神 一浩  
福井大学医学部看護学科 上野 栄一

### 149 中途採用看護職者の定着意志に関する研究－退職理由，再就職動機理由，再就職理由に着目して－

順天堂大学医学部附属練馬病院 ○仙石 妙子  
愛知県立大学大学院 藤原奈佳子 賀沢 弥貴

## 一般演題・口演

- 150 新卒看護師の就業継続のための支援に関する検討 - 就業継続の意思決定に至る過程に焦点を当てて -  
埼玉医科大学保健医療学部看護学科 ○浅霧 博美

### 第3会場 第37群 老年・在宅看護 14:40~15:40

座長：天野 瑞枝（藤田保健衛生大学医療科学部看護学科）

- 151 学生の授業に対する満足度と授業評価・学習評価・教員評価との関連 - 在宅看護学の展開から -  
福井医療短期大学看護学科 ○吉川 峰子 廣部すみえ
- 152 介護付有料老人ホームにおける終末期ケアと看取りケアに関する研究 - アンケート調査の自由記述の分析 -  
長崎県立大学看護栄養学部看護学科 ○赤司 千波  
九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科 大島 操  
大分岡病院 柴北 早苗
- 153 Telecommunicationを用いた認知症患者の介護者支援に関する海外文献の検討  
聖母大学看護学部 ○島田 夏子  
三重大学医学部看護学科 磯和 勅子  
日本赤十字看護大学看護学部 グライナー智恵子 松尾 香奈  
東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士後期課程 深堀 敦子  
神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科 大石 朋子  
帝京大学医療技術学部看護学科 岸 恵美子
- 154 グループホームの介護者が認知症高齢者とケア関係をつくっていくプロセス  
神奈川県立精神医療センター ○清水 小織  
埼玉医科大学 加藤 基子

### 第4会場 第38群 地域看護 14:40~15:40

座長：小山 幸代（北里大学看護学部）

- 155 メタボリック支援外来における生活習慣改善にむけた看護師の支援方法  
金沢大学大学院医学系研究科（金沢市立病院）○中西 容子  
金沢大学医薬保健研究域保健学系 稲垣美智子 多崎 恵子
- 156 地域保健・公衆衛生分野における統合医療研究の現状と課題  
東北大学大学院医学系研究科 ○藪田 歩 末永カツ子 高橋 香子
- 157 特定保健指導参加者の指導申し込みに関わる意思の構造とプロセス  
鹿児島大学大学院保健学研究科博士後期課程 ○平田 直美  
鹿児島大学医学部保健学科 堤 由美子
- 158 在宅におけるケアするものとケアされるものの関係性の構造的分析  
京都光華女子大学健康科学部看護学科 ○鮫島 輝美

第5会場 第39群 ヘルスプロモーション2 14:40~15:40

座長：岩瀬 信夫（愛知県立大学看護学部）

- 159 患者参画型糖尿病教室の参加者にみられたエンパワメント  
島根県立大学短期大学部看護学科 ○石橋 照子
- 160 子宮頸がん予防のためのワクチン接種に関する基礎調査  
鳥取大学医学部保健学科 ○前田 隆子 鈴木 康江 池田 智子 南前 恵子
- 161 更年期の知識と対処の関連性の検討  
北海道大学医学部保健学科看護学専攻4期生 ○岡田 郁絵 鈴木 織江 村井 優里  
室田 智美  
旭川医科大学病院 平塚 志保  
北海道大学大学院保健科学研究院 荻田 珠江
- 162 内臓脂肪症候群に着目した在宅医療支援システムの構築  
北里大学大学院医療系研究科 ○梅田 徳男  
名古屋大学医学部保健学科 大川 明子  
中京学院大学看護学部 高畑 正子

第6会場 第40群 基礎看護3 14:40~15:40

座長：石井 範子（秋田大学大学院医学系研究科）

- 163 静脈注射実施における看護独自の判断に関する検討  
国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程 ○禿 小恵子  
国際医療福祉大学大学院 坪井 良子
- 164 褥瘡の看護ケアのための基礎的実験：培養正常ヒト皮膚線維芽細胞の細胞移動に及ぼすヒアルロン酸の影響  
愛知県立大学看護学部 ○山崎ふたば 小松万喜子 米田 雅彦  
愛知県立大学大学院看護学研究科 高橋 佳子 松本 尚子
- 165 褥瘡創面の所見とヒアルロン酸代謝  
愛知県立大学大学院 ○高橋 佳子 松本 尚子  
愛知県立大学 小松万喜子 米田 雅彦
- 166 抗がん剤漏出性皮膚傷害に対するステロイド局所作用の検討－第2報－  
岩手県立大学看護学部 ○及川 正広 武田 利明 三浦奈都子

第7会場 第41群 老年看護3 14:40~15:40

座長：北川 公子（茨城県立医療大学）

- 167 認知症高齢者におけるよい出来事の記録の傾向－生活全体に配慮が必要な認知症高齢者に着目をして－  
岐阜大学医学部看護学科 ○小木曾加奈子

- 168 認知症高齢者に関わる看護学実習指導に関する文献検討  
日本赤十字豊田看護大学 ○神谷 智子 小林 尚司 石井香余理 西片久美子
- 169 看護職が重要であると考えた認知症高齢者ケアにおける介護老人保健施設（以下、老健）での環境  
平成医療短期大学看護学科 ○今井 七重  
岐阜医療科学大学看護学科 小木曾加奈子 棚橋千弥子 柴田由美子
- 170 慢性疾患をもち、施設で生活をしている軽度認知症高齢者の記憶の自己効力感  
愛知学泉短期大学生生活デザイン総合学科 ○木村 典子

第8会場 第42群 看護教育6 15:10~16:40

座長：渡邊 順子（聖隷クリストファー大学看護学部）

- 171 実習指導者の感じる困難と師長からのサポートとの関係について  
聖隷クリストファー大学看護学部 ○水野 美香  
名古屋大学医学部保健学科 太田 勝正
- 172 実習指導者の学習ニーズに関する研究  
千葉大学大学院看護学研究科 ○中山登志子 舟島なをみ
- 173 VTR視聴により看護学生が観察する患者の状態  
元愛知県立看護大学 ○西久保ひろみ  
愛知県立大学看護学部 佐藤 美紀 曾田 陽子
- 174 本学における実習前OSCEへの取り組み(1) -アンケート調査による今後の課題-  
日本赤十字広島看護大学 ○奥村ゆかり 笹本 美佐 小園由味恵 村田 由香 山村 美枝  
川西 美佐 中信利恵子 眞崎 直子
- 175 本学における実習前OSCEへの取り組み(2) -教育的フィードバックに関する検討-  
日本赤十字広島看護大学 ○小園由味恵 笹本 美佐 奥村ゆかり 村田 由香 山村 美枝  
川西 美佐 中信利恵子 眞崎なおこ
- 176 本学における実習前OSCEへの取り組み(3) -学生が実感する成長に関する内容分析-  
日本赤十字広島看護大学 ○笹本 美佐 小園由味恵 奥村ゆかり 村田 由香 山村 美枝  
川西 美佐 中信利恵子 眞崎 直子

第3会場 第43群 看護情報・国際看護 15:45~16:45

座長：太田 勝正（名古屋大学医学部保健学科）

- 177 日本における在住外国人の看護研究の動向  
川崎医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健看護専攻修士課程 ○廣田 真里  
川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科 伊東美佐江 服鳥 景子

## 一般演題・口演

- 178 患者のプライバシーに配慮した電子カルテ画面の表示方法についての検討  
名古屋大学医学系研究科 ○新實夕香理 太田 勝正
- 179 東北関東大震災に伴う放射線の健康への影響に関するインターネット上のQ&Aの評価  
岩手県立大学看護学部 ○山内 一史
- 180 中国の母親が認識する子どもの健康と健康作りのための実践に関する研究  
東京工科大学医療保健学部看護学科 ○王 麗華 木内 妙子 太田 浩子

### 第4会場 第44群 終末期看護など 15:45~16:45

座長：掛橋千賀子（岡山県立大学看護学科）

- 181 精神科訪問看護において病棟看護師が感じる困難  
国立精神・神経医療研究センター病院 ○川内 健三  
国立看護大学校 天谷真奈美
- 182 介護施設における看護師の終末期ケアに対する認識について  
JA秋田厚生連秋田組合総合病院 ○中田 早紀  
国立病院機構北海道がんセンター 秋葉 沙織  
秋田大学大学院 渡邊 知子
- 183 がん患者の終末期リハビリテーションに対する看護師の考え  
昭和大学藤が丘病院 ○寺澤 陽 唐子 朋恵  
昭和大学保健医療学部看護学科 井原 緑
- 184 体温管理に関する認識調査 ～認定看護師と看護師にて認識の違いはあるのか～  
地方独立行政法人那覇市立病院看護部 ○清水 孝宏

### 第5会場 第45群 看護研究 15:45~16:45

座長：藤井 徹也（聖隷クリストファー大学看護学部）

- 185 年代別推移からみた看護に関する研究動向 -テキストマイニング分析を用いて-  
前昭和大学大学院保健医療学研究科 ○水谷 郷美 加藤 千佳  
昭和大学保健医療学部 城丸 瑞恵
- 186 看護研究指導に関するユニフィケーションシステムへの期待 -病院と大学との連携システム構築に向けて-  
千里金蘭大学看護学部看護学科 ○九津見雅美 中岡亜希子  
住友病院看護管理部 八木 夏紀
- 187 都道府県看護協会における研究倫理審査体制の実態と整備の方略  
岩手県立大学看護学部 ○遠藤 良仁 伊藤 収 山内 一史

## 一般演題・口演

188 文献をデータとして活用した看護研究の動向 - 医学中央雑誌をデータベースとした分析 -

富山大学医学部看護学科 ○長瀬 睦美  
岐阜大学医学部看護学科 塚原 節子  
石川県立看護大学看護学部 岩城 直子  
厚生連高岡病院看護部 開発 順子  
富山大学付属病院看護部 辻口喜代隆

第6会場 第46群 基礎看護4 15:45~16:45

座長：真嶋由貴恵（大阪府立大学高等教育推進機構）

189 高血圧外来における設置型自動血圧計，看護師，医師による血圧測定値と家庭血圧値の比較検討 - 第2報 -

無所属 ○二宮 光

190 「食への援助」の実践状況と病棟特性の関連性

日本赤十字秋田看護大学 ○田中 瞳  
東京女子医科大学看護学部 山元由美子

191 臨床看護師の認識する効果的な気管吸引のための工夫

甲南女子大学看護リハビリテーション学部 ○前田 勇子 安森 由美  
千里金襴大学看護学部 中岡亜希子

192 体位変換における看護師の手のふれ方

久留米大学医学部看護学科 ○加悦 美恵 平原 直子 森本紀巳子 飯野矢住代 永田真理子  
宮本いずみ  
順天堂大学保健看護学部 野村志保子

第7会場 第47群 地域・在宅看護 15:45~16:45

座長：叶谷 由佳（山形大学医学部看護学科）

193 こども虐待を予防するための保健師と児童相談所との連携

琉球大学医学部保健学科 ○小笹 美子 宇座美代子 當山 裕子 古謝 安子 儀間 継子  
和氣 則江  
国際医療福祉大学福岡看護学部 長弘 千恵  
佐賀大学医学部看護学科 斉藤ひさ子  
沖縄県中央保健所地域保健班 古堅知香子

194 こども虐待に対する行政保健師の認識と対応について - 人口規模による特徴 -

国際医療福祉大学福岡看護学部 ○長弘 千恵 波止 千恵 野村 景子  
琉球大学医学部保健学科 小笹 美子  
佐賀大学医学部看護学科 斉藤ひさ子  
沖縄県中央保健所 古堅知香子

195 保健師のこども虐待予防の活動と研修との関連性について

沖縄県中央保健所地域保健班 ○古堅知香子

琉球大学医学部保健学科 小笹 美子 宇座美代子 當山 裕子

国際医療福祉大学福岡看護学部 長弘 千恵

佐賀大学医学部看護学科 斉藤ひさ子

196 母子健康手帳交付時から3歳児健康診査時までの母親の児童虐待要因の経時的変化の検討

山形大学医学部看護学科 ○佐藤 幸子 佐藤 志保

山形県立保健医療大学看護学科 遠藤 恵子

● 8月7日 (日) ●

第10会場 第1群 基礎看護1 14:20~15:20

- 197 ベッド上での水平移動時における看護師の腕の差し入れの深さと重心軌跡  
宝塚大学看護学部 ○假谷ゆかり  
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 阿曾 洋子 伊部 亜希 田丸 朋子 本多 容子  
荒岡 広子  
元大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 片山 恵
- 198 ベッド上臥床者の対人距離と関連する要因 -性別, 接近者性別, 視線, 不安との関連-  
東北大学医学系研究科看護教育・管理学分野 ○渡邊 生恵 佐藤 みほ 朝倉 京子
- 199 環境要因・看護師自身の要因による看護師の排泄臭の意識の違いについて  
済生会松坂総合病院 ○杉山香奈子  
三重県立看護大学 灘波 浩子
- 200 気管吸引における基礎教育の実態と就職後の実践とのギャップ  
千里金蘭大学看護学部 ○中岡亜希子  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部 安森 由美 前田 勇子
- 201 静脈血管駆血時における腕を下げる方法と温罨法との血管怒張度の比較  
国立病院機構四国がんセンター ○福田 栄江  
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 乗松 貞子

第10会場 第2群 基礎看護2 14:20~15:20

- 202 更年期女性へのタクティールケア介入における生理的・心理的効果  
金沢医科大学看護学部 ○河野由美子 小泉 由美 酒井 桂子 久司 一葉 木本 未来  
坂井 恵子 坪本他喜子  
金沢医科大学病院 橋本 智美  
金沢医科大学医学部 北本 福美
- 203 更年期女性へのタクティールケア介入の生理的効果 -簡略更年期指数による比較-  
金沢医科大学看護学部 ○小泉 由美 河野由美子 酒井 桂子 久司 一葉 木本 未来  
坂井 恵子 坪本他喜子  
金沢医科大学病院 橋本 智美  
金沢医科大学医学部 北本 福美
- 204 腰背部温罨法における湿熱法と乾熱法によるリラクゼーション効果の比較  
国立病院機構呉医療センター呉看護学校 ○金子真由美  
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 乗松 貞子

## 一般演題・示説

- 205 生体での静脈血採血演習に対して学生が行うプリパレーション  
大阪市立大学医学部看護学科 ○松澤 洋子  
元大阪市立大学医学部看護学科 渡邊亜紀子 久保まどか
- 206 若年女性に対する骨密度に関する教育的指導効果  
県立広島大学保健福祉学部 ○近村 千穂 石崎 文子 青井 聡美 池田ひろみ  
藤田保健衛生大学医学部 飯田 忠行  
広島大学大学院保健学研究科 片岡 健 小林 敏生

### 第10会場 第3群 健康増進・予防看護 14:20~15:20

- 207 垂直及び水平方向の低周波・低振幅揺動が立位時の心拍変動に与える影響  
金沢工業大学情報学部心理情報学科 ○榊原 吉一  
宮崎県立大学看護学部 長坂 猛  
福岡県立大学看護学部 田中美智子
- 208 地域高齢者の介護予防に向けたボランティア活動への提案 -食生活改善推進員の活動の現状から-  
愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科 ○岡村 絹代
- 209 在米日系人の健康統制観（HLC）とライフスタイルとの関連（第2報）  
広島大学病院 ○右近 清子 山本 雅子
- 210 南太平洋へのヘルスツーリズムが精神的健康度に及ぼす影響  
広島大学大学院保健学研究科 ○古屋敷明美 寺岡 幸子 若松 順子 小林 敏生
- 211 看護師の心の健康に影響を及ぼす情動知能因子の様相  
大阪信愛女学院短期大学 ○北原 信子  
愛知医科大学看護学部 坊垣 友美

### 第10会場 第4群 看護教育1 14:20~15:20

- 212 看護学生の健康習慣及び体調と同居者の有無との関連  
東邦大学佐倉看護専門学校 ○仁科 智子 春日久美子 杉野 直子 植松祐美子 伊藤 茂理
- 213 看護学生の自己の食生活改善をめざした教育プログラムの開発 第1報  
石川県立看護大学 ○藤田 三恵 川島 和代 丸岡 直子 中田 弘子 三輪 早苗
- 214 看護学生の大学生生活満足度の現状および社会的スキルとの関連  
鳥取大学医学部保健学科 ○仁科 祐子 乗越 千枝  
岡山大学大学院保健学研究科 谷垣 静子  
聖マリア学院大学看護学部 宮林 郁子
- 215 看護大学生が捉えたケアされた体験に関する研究 -家族からのケア-  
福岡女学院看護大学看護学部 ○坂梨 左織 松岡 緑 太田 里枝 柴田 裕子 鐵井 千嘉

216 眼球運動と危険認識からみた看護大学4年生の危険予知の特徴

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 ○大黒 理恵 齋藤やよい

第10会場 第5群 看護教育2 15:30~16:30

217 女子看護学生の実習中の排尿・食事・睡眠の実態調査

小倉記念病院 ○三戸麗美愛  
日本赤十字医療センター 藤井 彩絵  
山口大学医学部附属病院 平田 弥生 原田奈央美  
下関総合病院 古屋 恭子  
山口大学大学院医学系研究科 留畑寿美江

218 女子看護学生の実習中の排尿行動を抑制する心理

山口大学医学部附属病院 ○平田 弥生 原田奈央美  
日本赤十字医療センター 藤井 彩絵  
小倉記念病院 三戸麗美愛  
下関総合病院 古屋 恭子  
山口大学大学院医学系研究科 留畑寿美江

219 女子大学生における睡眠の実態

鳥取大学医学部附属病院 ○小迫 由佳  
神戸大学医学部附属病院 宮本 啓代 山崎亜希子  
鳥取大学 松田 春華 森本美智子  
福岡徳洲会病院 塚田 理奈  
杏林大学医学部附属病院 児玉 友紀  
岡山大学医学部附属病院 小川 智子

220 女子大学生の睡眠に関する類型化の検討

杏林大学医学部附属病院 ○児玉 友紀  
神戸大学医学部附属病院 山崎亜希子 宮本 啓代  
岡山大学病院 小川 智子  
鳥取大学医学部附属病院 小迫 由佳  
福岡徳州会病院 塚田 理奈  
鳥取大学 松田 春華 森本美智子

221 女子大学生における睡眠の質に影響する要因の検討

岡山大学病院 ○小川 智子  
福岡徳洲会病院 塚田 理奈  
鳥取大学 松田 春華 森本美智子  
鳥取大学医学部附属病院 小迫 由佳  
杏林大学医学部附属病院 児玉 友紀  
神戸大学医学部附属病院 宮本 啓代 山崎亜希子

## 一般演題・示説

### 第10会場 第6群 看護教育3 15:30~16:30

222 高齢者の身体拘束に対する看護学生の意識

戸田中央看護専門学校 ○坂井 瑞子

223 看護学生の栄養機能食品に対する認識

広島国際大学看護学部 ○山田 智子 白木 智子 近藤 裕子  
介護老人保健施設はまな荘 山村嘉寿美

224 睡眠と欠食の実態からみた看護学生に対する健康教育

香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 ○合田 友美

225 青年期にある学生の社会的スキルに関する研究の動向

神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科 ○田中 博子 田辺けい子  
元神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科 長田 泉

226 看護学生の看護のイメージと関連要因の学年比較

岩手県立大学看護学部 ○鈴木美代子 井上 都之

### 第10会場 第7群 看護教育4 15:30~16:30

227 2年次学生の演習における3年次学生の指導の効果に関する研究

富山福祉短期大学看護学科 ○谷 優美子 北嶋真由美 今川 孝枝

228 PBLチュートリアル教育に対する学生授業評価の分析

高知大学教育研究部医療学系看護学部門 ○青木 早苗 高橋 永子 山脇 京子 寺下憲一郎

229 コンピテンシーディクショナリーに準拠した新ラダー評価モデル(NLM)の開発

桜橋渡辺病院 ○中村 佳奈 徳永 里絵 山田 君代  
臨床研究支援センター (Office AKI) 山田 一朗

230 スキルラボの利用状況からみた現状と課題

京都府立医科大学附属病院 ○稲垣 純子 太田 智子 倉ヶ市絵美佳  
京都府立医科大学医学部看護学科 三橋 美和 山本 容子 佐伯 良子

231 フィジカルアセスメント教育の効果的な教育方法の探究

元大阪市立大学医学部看護学科 ○渡邊亜紀子 久保まどか  
大阪市立大学医学部看護学科 松澤 洋子

### 第10会場 第8群 看護教育5 15:30~16:30

232 職業的アイデンティティに影響を与える臨地実習体験後のリフレクション構成因子

徳島大学大学院保健科学教育部 ○上田伊佐子  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 川西千恵美

## 一般演題・示説

- 233 看護専門学校生のコミュニケーション能力に関する意識調査 -看護師に必要な実践能力の学年間比較より-  
大阪医科大学附属看護専門学校 ○重年 清香
- 234 看護系大学生の学習意欲とコミュニケーション能力に関する研究(第1報:実態調査)  
千里金蘭大学看護学部 ○森谷 利香 九津見雅美 池田 七衣 竹村 節子
- 235 看護系大学生の学習意欲とコミュニケーション能力に関する研究(第2報:模擬患者演習の効果の検証)  
千里金蘭大学看護学部 ○竹村 節子 九津見雅美 森谷 利香 池田 七衣
- 236 看護系大学生の学習意欲とコミュニケーション能力に関する研究(第3報:模擬患者演習の効果の質的分析)  
千里金蘭大学看護学部 ○池田 七衣 森谷 利香 九津見雅美 竹村 節子

### 第10会場 第9群 看護教育6 15:30~16:30

- 237 客観的臨床能力試験の実施と評価(1) -学生及び教員の評価からみた学士課程4年生の看護実践能力の現状-  
京都府立医科大学看護学科 ○山縣 恵美 山本 容子 高尾 憲司 滝下 幸栄 毛利 貴子  
笹川 寿美 光木 幸子 岡山 寧子 眞鍋えみ子  
京都府立医科大学附属病院 倉ヶ市絵美佳
- 238 客観的臨床能力試験の実施と評価(2) -試問ステーションの評価と実技ステーションの評価との関連-  
京都府立医科大学医学部看護学科 ○山本 容子 山縣 恵美 高尾 憲司 滝下 幸栄  
毛利 貴子 笹川 寿美 光木 幸子 眞鍋えみ子  
岡山 寧子  
京都府立医科大学 倉ヶ市絵美佳
- 239 学士課程卒業前の看護技術経験状況と看護実践能力経験到達状況との関連  
京都府立医科大学医学部看護学科 ○笹川 寿美 小松 光代 大久保友香子 和泉 美枝  
三橋 美和 毛利 貴子 滝下 幸栄 眞鍋えみ子  
岡山 寧子
- 240 看護学科新入生の対人関係能力の傾向 -自己開示性・オープナー性・共感性を中心に-  
福岡大学医学部看護学科 ○川口賀津子
- 241 看護学生が統合看護実習を通して学んだ看護専門職者に必要な能力  
兵庫医療大学看護学部看護学科 ○加藤 泰子 大町 弥生 山田 千春  
兵庫医科大学ささやま医療センター 上谷 幸子 西山 静香 窪 浩子

### 第10会場 第10群 看護教育7 16:40~17:40

- 242 専門領域を超えタイアップする授業展開の効果と課題  
山梨県立大学看護学部 ○平田 良江 渡邊 裕子 井川 由貴 茂手木明美 森田 祐代
- 243 保健学授業により導かれたコメディカル学生の健康行動への意識  
平成医療専門学校視能訓練学科 ○赤羽根章子

## 一般演題・示説

### 244 臨床看護師の実践経験と自己教育力の関係性についての検討

福岡県立大学看護学部 ○於久比呂美 永嶋由理子 渕野 由夏 加藤 法子

### 245 臨床が求める看護基礎教育卒業時のフィジカルアセスメント技術の必須項目 その1 病棟別による検討

旭川大学保健福祉学部保健看護学科 ○中村 聖子 岡田 郁子 ニッ森栄子 畑瀬智恵美

### 246 臨床が求める看護基礎教育卒業時のフィジカルアセスメント技術必須項目の検討 その2 学習別による検討

旭川大学保健福祉学部保健看護学科 ○岡田 郁子 ニッ森栄子 中村 聖子 畑瀬智恵美

## 第10会場 第11群 看護教育8 16:40~17:40

### 247 小児看護学実習における教員の指導方法の検討 -学生の教員評価の分析から-

香川県立保健医療大学看護学科 ○舟越 和代 合田 友美 三浦 浩美

### 248 医療的ケアを担う特別支援学校看護師の看護実践力

大阪医科大学看護学部 ○道重 文子 竹村 淳子

滋賀県立大学人間看護学部 古株ひろみ

岐阜県立看護大学 泊 祐子

### 249 授業評価からの母性看護学教育における学生の授業目標到達度の検討

四国大学看護学部 ○牛越 幸子 高橋 順子 齋藤 啓子 三木 章代 高野みち子

寺尾 紀子

### 250 臨地実習における意図的タッチの活用状況

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 ○渋谷えり子 岡本佐智子

### 251 看護学生のEQS領域得点バランスからみた情動知能構造の状況

横浜創英短期大学看護学科 ○澤田 和美 中島 正世 金子 直美 吉川奈緒美 市川 茂子

## 第10会場 第12群 看護教育9 16:40~17:40

### 252 看護学生のケアに対する意識とSense of Coherenceとの関連

人間総合科学大学 ○本江 朝美 杉山 洋介

上武大学 高橋ゆかり 古市 清美

筑波大学 小泉 仁子

### 253 基礎看護実習終了後の学生の精神的回復力と臨地実習自己効力感との関連

佐賀大学医学部看護学科 ○村田 尚恵 分島るり子 古島 智恵 高島 利 井上 範江

### 254 成人看護学実習(急性期)における実習過程の評価 -実習部署間の差異-

川崎医療短期大学看護科 ○滝本 茂子 岡田 初恵 佐藤佳代子 中西 啓子

### 255 成人看護学慢性期実習における腎センター見学実習での学生の学習経験

川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科 ○太田 浩子 小野 美穂 藤永 正枝

256 総合実習におけるICU看護の学習効果と課題

佐賀大学医学部看護学科 ○安田加代子 末次 典恵

第10会場 第13群 看護管理1 16:40~17:40

257 臨床実習における看護学生の医療安全に関する意識(第2報)

福井県立大学看護福祉学部 ○有田 広美 笠井 恭子 山崎加代子

258 看護師のインシデント・アクシデント後に体験した周囲の関わり

JA北海道厚生連遠軽厚生病院 ○小林 順子

日本赤十字北海道看護大学 山本 美紀 休波 茂子

259 集中治療部におけるミスの関連要因

桜橋渡辺病院 ○矢野伸太郎 山田 君代

臨床研究支援センター (Office AKI) 山田 一朗

260 指示書の「識字率」「認識率」の実態と、その背景要因

NTT西日本大阪病院 ○山下みゆき 今野 香代 辻 貴子 土田紫帆里 梶尾 智子

島本 順子 樋口 美紀 東 香代子

臨床研究支援センター (Office AKI) 山田 一朗

261 医療機関における看護師が関与する臨床検査についての実態調査

弘前大学大学院保健学研究科 ○小倉能理子 會津 桂子 西沢 義子

弘前大学医学部附属病院 小林 朱実 増田 育子

第11会場 第14群 看護管理2 14:20~15:20

262 注射事故防止に関する実験・体験プログラムの学習効果(1) 高校生を指導した看護師のインタビューから

日本赤十字広島看護大学看護学部看護学科 ○吉田 和美 川西 美佐 三味 祥子

263 注射事故防止に関する実験・体験プログラムの学習効果(2) ロールプレイ実施看護師へのインタビューから

日本赤十字広島看護大学看護学部看護学科 ○三味 祥子 川西 美佐 吉田 和美

264 病棟管理における看護師長の環境整備に対する意識

大阪赤十字病院 ○山本 珠希

三重県立看護大学 若林たけ子 橋本 秀実 灘波 浩子

265 新人看護師に対する接遇教育のあり方に関する研究

名古屋市立大学病院 ○杉浦恵理香

三重県立看護大学 若林たけ子 橋本 秀実 灘波 浩子

266 新卒看護師のリアリティショックと離職願望の関連 -職業的アイデンティティを関連要因として-

九州大学大学院医学系学府保健学専攻 ○古野 貴臣

九州大学大学院医学研究院保健学部門 中尾 久子

第11会場 第15群 看護管理3 14:20~15:20

267 新卒看護師の入職後一年間の心理状態の推移

広島大学大学院保健学研究科 ○寺岡 幸子 宮腰由紀子 高瀬美由紀 板谷 恵美  
小林 敏生

268 新卒看護師の離職要因と離職時期 ～1983年～2010年の文献を通して～

岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻 ○田島真智子

269 新卒看護職者の職場適応状態と影響要因 -グループインタビューの分析-

福岡大学医学部看護学科 ○須崎しのぶ 原田 広枝 山下 千波 川口賀津子 吉川千鶴子  
中嶋恵美子

270 大卒新人看護師の就職後6ヶ月目までの体験内容と支援

東京大学医学部附属病院 ○植草 由貴  
横浜市立大学医学部看護学科 平田 明美

271 新卒看護師に対する看護師長の認識に関する調査

香川大学医学部看護学科 ○野口 英子 當目 雅代 小笠 美春 金正 貴美

第11会場 第16群 看護管理4 14:20~15:20

272 看護学士課程卒後1～3年（一人前看護師になるまで）の看護実践能力の推移からみる教育課題

京都府立医科大学 ○小松 光代 和泉 美枝 大久保友香子 三橋 美和 眞鍋えみ子  
岡山 寧子

273 看護師および学生の感情労働と看護実践力の関連

京都橘大学看護学部 ○片山由加里  
大阪府立大学看護学部 細田 泰子

274 看護師のストレスセルフマネジメントに用いるライフスキルとSOCとの関連

上武大学看護学部看護学科 ○高橋ゆかり 本江 朝美 古市 清美  
筑波大学大学院人間総合科学研究科 小泉 仁子

275 看護師の潜在期間別にみた看護技術自己評価の特徴

畿央大学健康科学部看護医療学科 ○神戸美輪子  
大阪府立大学看護学部 細田 泰子 星 和美

276 WLB実現に取り組む病院に勤務する女性看護師の特徴及びWLBの認識

岐阜大学大学院医学系研究科 ○渡邊 郁子  
岐阜大学医学部看護学科 塚原 節子

### 第11会場 第17群 看護管理5 14:20~15:20

- 277 看護師の職務意欲に影響する要因 -看護管理者の視点から-  
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 ○長谷川真美  
東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科 今川 詢子
- 278 病棟風土がスタッフの病棟態度およびバーンアウトに及ぼす影響の検討  
上智大学総合人間科学部看護学科 ○塚本 尚子 船木 由香
- 279 保健師・助産師・看護師の仕事の満足度と思考特性や参画力との関係  
島根県立大学短期大学部 ○吾郷美奈恵 石橋 照子 梶谷みゆき 三島三代子
- 280 20年以上の看護職としてのキャリア継続を可能にした要因に関する質的研究  
筑波大学大学院人間総合科学研究科 ○村井 文江 小池 秀子 三木 明子 江守 陽子
- 281 看護師の組織コミットメントの因子構成と基本属性の考察  
大分大学 大学院医学系研究科修士課程看護学専攻 ○阿南 美江  
大分大学医学部看護学科 原田 千鶴 薄井 嘉子  
大分大学医学部数学・統計学講座 江島 伸興

### 第11会場 第18群 急性期看護 14:20~15:20

- 282 CTガイド下ラジオ波腫瘍焼灼術を受ける肺がん患者の術中体験  
岡山大学大学院保健学研究科博士前期課程 ○藤沢 芳基
- 283 安全に手術を受けるために手術部看護師と病棟看護師が互いに必要とする情報  
九州大学病院 ○中筋 和美  
宮崎大学医学部看護学科 内田 倫子 土屋八千代
- 284 胸腔鏡下胸部交換神経遮断術後に代償性発汗を呈した手掌多汗症患者に関する実態調査  
ノバルティスファーマ株式会社 ○依知川茉奈美  
横浜市立大学医学部看護学科 平田 明美
- 285 高周波カテーテルアブレーション治療後に生じる出血と背景要因の関連性  
桜橋渡辺病院 ○水流 綾子  
臨床研究支援センター (Office AKI) 山田 一朗
- 286 心臓手術を受けた患者の術後回復のプロセスと心理的变化  
淑徳大学看護学部 ○大澤千恵子

第11会場 第19群 周手術期看護・慢性期看護 15:30~16:30

- 287 全身麻酔で手術を受ける者の仙骨部周辺の体圧と栄養状態との関連  
 済生会吹田病院 ○石井さやか 土井 直恵 矢野ゆう子  
 京都府立医科大学看護学科 西田 直子
- 288 高度救命救急センターにおける看護師による医療行為の実施可能性 -救急看護師・医師に対する意識調査-  
 大分県立看護科学大学看護学部看護学科 ○石田佳代子
- 289 クリティカルケア領域における総合実習での学生の看護技術の実践状況  
 佐賀大学医学部看護学科 ○末次 典恵 安田加代子
- 290 周術期患者に対する寝衣交換の技術の教育効果  
 愛知県立大学看護学部 ○熊澤 友紀 深田 順子 吹田 麻耶 鎌倉やよい
- 291 脳血管障害患者の主観的QOLの変化  
 秋田大学大学院医学系研究科 ○渡邊 知子  
 公立大学法人青森県立保健大学健康科学部看護学科 藤田あけみ  
 八戸短期大学看護学科 中村 令子  
 静岡県看護協会 石鍋 圭子  
 広島大学大学院保健学研究科 宮腰由紀子  
 日本赤十字秋田看護大学看護学部看護学科 荒木美千子

第11会場 第20群 老年看護1 15:30~16:30

- 292 インスリン治療を選択しない高齢糖尿病患者の療養生活の体験  
 愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 ○松田 佳美 永田 明 陶山 啓子
- 293 「よりどころ」として大切にしていることの3世代の特徴 -テキストマイニングによる分析-  
 川崎医療短期大学看護科 ○小藪 智子  
 川崎医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 白岩千恵子  
 川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科 竹田 恵子  
 岡山県立大学保健福祉学部看護学科 太湯 好子
- 294 高齢社会におけるパーソナルモビリティ活用とQOL評価 -ICFの「活動」と「参加」の観点から-  
 熊本大学大学院生命科学研究部 ○永田 千鶴
- 295 高齢者における自覚的症候と毛髪中微量ミネラル濃度の年次変化と食生活意識  
 横浜創英短期大学看護学科 ○福嶋 龍子
- 296 高齢者女性の塩分の食習慣による毛髪中カルシウムの変化  
 横浜創英短期大学 ○風岡たま代 福嶋 龍子 渡部 良子  
 順天堂大学保健看護学部 美ノ谷新子

第11会場 第21群 老年看護2 15:30~16:30

- 297 転倒予防在宅トレーニング介入 - 1年間の体力推移と介入終了半年後の追跡調査 -  
大阪大学大学院医学系研究科 ○福録 恵子
- 298 要介護高齢者における耳垢の性状による蓄積経過 - 12週間の耳垢除去および外耳道の観察を通して -  
大分大学医学部看護学科 ○末弘 理恵 甲斐 博美 三重野英子  
帝京科学大学医療科学部看護学設置準備室 泉 キヨコ  
金沢大学医薬保健研究域保健学系 正源寺美穂
- 299 介護老人保健施設における介護・看護職のアセスメントに基づく排泄ケアの効果  
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 ○小岡亜希子 形上 五月 陶山 啓子
- 300 回復期リハビリテーション病棟に入院中の患者の夜間頻尿の実態と原因に関する研究  
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 ○大木 利枝 形上 五月 陶山 啓子
- 301 回復期リハビリテーション病棟入院中の高齢者と家族の人間関係が在宅復帰に及ぼす影響  
愛媛大学医学系研究科看護学専攻 ○信藤 美香 田中久美子 陶山 啓子

第11会場 第22群 老年看護3 15:30~16:30

- 302 老年看護実習における集団レクリエーションの評価  
佐賀大学医学部看護学科 ○田淵 康子 藤田 君支 松藤 彩  
医療法人社団高邦会福岡山王病院 仙波 洋子
- 303 看護補助者を対象にした学習プログラム作成の試み ~介護福祉士と共同での指導を実施して~  
医療法人社団浅ノ川心臓血管センター金沢循環器病院 ○津山 玲奈 本野 雅代 西島 澄子  
樋木 和子
- 304 高齢者が望む看護師像 - 看護学生によるインタビューを通して -  
了徳寺大学健康科学部看護学科 ○山本 君子
- 305 高齢者介護施設職員の高齢者に対する知識とエイジズム  
純真学園大学 ○久木原博子  
聖マリア学院大学 安藤 満代  
佐賀大学大学院医学系研究科 藤田 美貴
- 306 施設入所高齢者の胃ろう造設における家族の代理決定プロセス  
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス ○加藤 真紀  
島根大学医学部看護学科 原 祥子

第11会場 第23群 老年看護4 16:40~17:40

- 307 特別養護老人ホームで積極的に「看取り」に取り組む介護士の意識  
宮崎大学医学部看護学科 ○坂下恵美子  
愛媛県立医療技術大学 西田 佳世 岡村 絹代
- 308 特別養護老人ホームにおける看護職と介護職の看取りの連携プロセス  
聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科博士後期課程 ○大村 光代  
浜松医科大学 倉田 貞美
- 309 認知症高齢者を介護する配偶者の感情に関する研究 -バーンアウトスケールによる検討-  
元札幌介護サービス ○高橋 順子  
群馬県立県民健康科学大学 眞鍋 知子  
北海道文教大学人間科学部看護学科 滋野 和恵
- 310 高齢者における胃瘵栄養の在宅介護プロセス  
浜松医師会看護高等専修学校 ○山下ひろみ  
浜松医科大学 倉田 貞美
- 311 在宅における被介護高齢者の排尿状況と主介護者の介護負担の関連  
広島大学大学院保健学研究科 ○井場ヒロ子 宮腰由紀子 寺岡 幸子 高瀬美由紀

第11会場 第24群 老年・在宅看護 16:40~17:40

- 312 自立する地域在住高齢者の起立性血圧変動  
名寄市立大学 ○武田かおり  
北海道医療センター附属札幌看護学校 水野 智美  
札幌医科大学 奥宮 暁子
- 313 地域高齢者の健康増進を目指した地域連携活動の効果  
三重大学医学部看護学科 ○磯和 勅子 北川亜希子 平松万由子
- 314 変形性膝関節症患者のセルフケア能力  
鳥取大学医学部保健学科 ○谷村 千華 森本美智子 平松喜美子
- 315 膵頭十二指腸切除術を受けた高齢がん患者の配偶者が抱える退院後の生活管理の困難と対処法  
森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科 ○吉村弥須子  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部 白田久美子 前田 勇子  
大阪市立大学医学部附属病院 花房 陽子 駒田 良子  
大阪府立大学大学院看護学研究科 別宮 直子

- 316 認知症高齢者および家族の地域生活を阻害する困難要因  
真生会富山病院 ○京谷 和哉  
富山福祉短期大学看護学科 一ノ山隆司  
富山市立富山市民病院 舟崎起代子  
奈良県立医科大学医学部看護学科 松浦 純平

第11会場 第25群 母性・小児1 16:40~17:40

- 317 妊娠期における新たに子どもを迎える親の考え - 初産婦夫婦と経産婦夫婦の比較 -  
群馬県立県民健康科学大学 ○行田 智子 細谷 京子
- 318 妊娠期の精神的健康問題に関する研究 - 抑うつスキーマの構造分析 -  
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 ○宮本 政子 野口 純子 竹内美由紀
- 319 妊娠経過に伴う妊婦歩行の経時的变化 - 重心位置の垂直方向変動幅からみた特徴について -  
京都府立医科大学医学部看護学科 ○松岡 知子 岩脇 陽子 滝下 幸栄
- 320 病院で出産した女性が役立ったと感じた分娩期のケアとその理由  
北海道大学大学院保健科学研究院 ○荻田 珠江
- 321 母乳育児に自信がない女性における母乳育児継続に必要な夫のサポート  
徳島文理大学助産学専攻科 ○森脇 智秋  
徳島大学HBS研究部 川西千恵美

第11会場 第26群 母性・小児2 16:40~17:40

- 322 冷罨法としてのキャベツ葉湿布の冷却効果  
東北厚生年金病院 ○田代 宣子  
弘前学院大学看護学部 櫛引美代子
- 323 不妊治療により挙子を得た夫の出産に至るまでの心理的プロセス  
岐阜県立看護大学大学院博士前期課程育成期看護学領域 ○金子 洋美  
岐阜県立看護大学 泊 祐子
- 324 産後1年の母親のうつ傾向と家族機能との関連  
佐賀大学医学部看護学科 ○山川 裕子 藤本 裕二  
福岡女学院看護大学 中島富有子
- 325 医療的ケアを担う特別支援学校看護師の児童生徒を取り巻く周囲の人々との関係の状況  
岐阜県立看護大学 ○泊 祐子  
大阪医科大学看護学部 竹村 淳子 道重 文子  
滋賀県立大学人間看護学部 古株ひろみ

## 一般演題・示説

- 326 重層する苦悩の時を乗り越えた小児がん経験者のライフストーリー – 成長過程で変化した病の意味 –  
上武大学看護学部看護学科 ○益子直紀  
群馬大学医学部保健学科 堀越 政孝 二渡 玉江

### 第11会場 第27群 母性・小児3 16:40~17:40

- 327 小児の歯科恐怖の要因の検討  
文献レビューによる過去10年の動向  
北海道大学大学院保健科学院 ○中田亜由美  
北海道大学大学院保健科学研究所 佐藤 洋子
- 328 地域の小児科医院に勤務する看護師の難病児とその家族への看護援助 – 自由記述調査からの分析 –  
日本保健医療大学保健医療学部 ○田崎知恵子  
埼玉医科大学区保健医療学部看護学科 久保 恭子  
東京慈恵医科大学医学部看護学科 川野 雅資
- 329 入院している小児の転倒・転落の影響要因  
兵庫医療大学看護学部看護学科 ○藤田 優一  
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 藤原千恵子
- 330 訪問看護師への小児在宅看護研修を実施して（その1） – 研修の訪問看護師への効果 –  
熊本大学大学院生命科学研究部看護学講座 ○生田まちよ 宮里 邦子 永田 千鶴
- 331 訪問看護師への小児在宅看護研修を実施して（その2） – 訪問看護師が求める小児在宅看護研修 –  
熊本大学大学院生命科学研究部看護学講座 ○生田まちよ 宮里 邦子 永田 千鶴

## ● 8月8日（月） ●

### 第10会場 第28群 小児看護・看護教育 11:10~12:10

- 332 高校生の性交意思と性役割意識およびこども観との関連性  
愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科 ○中越 利佳 草薙 康城 宇都宮温子
- 333 小児看護学実習前後の対児感情の変化について  
兵庫大学健康科学部看護学科 ○上田 美歌 川上あずさ 池田 友美
- 334 小児看護技術演習においてグループ学習を効果的に進めるための教育方法の検討  
四国大学看護学部看護学科 ○齋藤 啓子 小川 佳代 中澤 京子
- 335 小児看護領域における看護学生の倫理の学び  
京都府立医科大学医学部看護学科 ○高尾 憲司 園田 悦代
- 336 小児専門領域へ就職する学生が捉えた自己の小児看護技術に対する認識  
新潟医療福祉大学健康科学部看護学科 ○中村 郷子 坪川麻樹子 松井由美子

第10会場 第29群 終末期・緩和ケア 11:10~12:10

- 337 終末期看護実習での学生のトータルペインの理解のプロセス ～学生へのインタビューから～  
茨城キリスト教大学看護学部 ○久保川真由美 原島 利恵 栗原 加代 山岸 千恵  
小澤 尚子
- 338 緩和ケアチームにおける医療スタッフ・チャプレンのストレス対処法  
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 ○片山 康予 井上 智子
- 339 一般病棟における患者の死に起因する看護師の感情への影響因子と対処法の有効性  
元北海道大学医学部保健学科看護学専攻 ○鈴木 志穂  
北海道大学大学院保健科学研究院基盤看護学分野 青柳 道子  
北海道大学病院 高橋 依子  
KKR札幌医療センター 榎谷 典子  
千葉大学医学部附属病院 沼田ありさ
- 340 一般病棟における看護師の経験年数による終末期ケアに対する意識の違い  
JA岐阜厚生連岐北厚生病院 ○林 由加里 堀 陽子
- 341 看取りの場における看護職の死後のケアへの思い  
新潟青陵大学看護福祉心理学部看護学科 ○小林 祐子

第10会場 第30群 終末期・在宅看護など 11:10~12:10

- 342 在宅での看取りを支える連携の検討 -遺族が満足感を得ることができた事例から-  
社会医療法人敬和会大分豊寿苑訪問看護ステーション ○柴北 早苗  
長崎県立大学看護栄養学部看護学科 赤司 千波  
九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科 大島 操
- 343 デスカンファレンスの内容分析に基づいたターミナルケアの評価  
独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター看護部 ○蓮池 真美  
光華女子大学健康科学部看護学科 堀井たづ子
- 344 緩和ケア看護学演習において「エンゼルメイク」を体験した看護学生の学びと実技演習の教育的効果  
新潟医療福祉大学健康科学部看護学科 ○目黒 優子 栗原 弥生 新谷 恵子
- 345 看護職のグリーフ・ストレスにおける成長過程の検討  
愛知きわみ看護短期大学 ○竹下美恵子
- 346 訪問看護師対象の「在宅ターミナルケア教育プログラム」開発  
岐阜大学医学部看護学科 ○小松 妙子 滝内 隆子  
金沢医科大学看護学部 前田 修子

第10会場 第31群 基礎看護3 11:10~12:10

- 347 全口腔法における味覚閾値検査  
愛知医科大学看護学部 ○伊藤真由美
- 348 入眠時の自律神経反応と主観的評価  
福岡県立大学看護学部 ○田中美智子 江上千代美 近藤 美幸  
宮崎県立看護大学 長坂 猛
- 349 排便処理における古新聞と茶葉を用いたオムツ内の消臭効果  
JA広島総合病院 ○平本 梨恵 江美 真弓 武田 慶子 坂尻 明美
- 350 腹部・腰部温罨法実施における生理的变化 -唾液中アミラーゼ活性, 自律神経活性, 表面皮膚温の検討-  
福岡県立大学看護学部看護学科 ○近藤 美幸 江上千代美 田中美智子  
宮崎県立看護大学 長坂 猛
- 351 冷えの有無に対する温罨法の効果 -下腹部温罨法と腰部温罨法の違い-  
福岡県立大学 ○江上千代美 近藤 美幸 田中美智子  
宮崎県立看護大学 長坂 猛

第10会場 第32群 基礎看護4 11:10~12:10

- 352 新ICU病衣の作成  
富山市民病院集中治療科 ○富永 弥生 土開 美和 本波さやか 重松 理恵  
福井大学基礎看護学科 上野 栄一
- 353 双方向学習教材PF-NOTEを活用した看護学生のコミュニケーション技術教育の取り組み  
京都府立医科大学医学部看護学科 ○岩脇 陽子 山本 容子 滝下 幸栄 松岡 知子  
室田 昌子
- 354 大学入学後1年間の学習を終えた看護学生の「医療安全」に関する意識  
香川大学医学部看護学科 ○南 妙子
- 355 入院時オリエンテーションにおける患者-看護師間の会話分析と評価  
京都府立医科大学附属病院 ○中井亜由美  
京都府立医科大学医学部看護学科 西田 直子  
洛和会丸太町病院 和佐ゆかり
- 356 四国遍路『お接待』に潜むケアの要素 -遍路体験記の分析から-  
四国大学看護学部 ○高橋 順子

第10会場 第33群 看護教育10 13:30~14:30

- 357 看護学士課程4年生を対象としたキャリア教育の取り組み  
京都府立医科大学医学部看護学科 ○眞鍋えみ子 岡山 寧子  
京都府立医科大学看護実践キャリア開発センター 倉ヶ市絵美佳  
京都府立医科大学附属病院 橋元 春美
- 358 基礎看護学実習前の看護学生の動機づけと影響する要因  
元愛知県立大学大学院看護学研究科 ○伊藤 美幸  
愛知県立大学看護学部 小松万喜子
- 359 看護学生の職業的アイデンティティ尺度作成の試み  
上武大学看護学部看護学科 ○古市 清美 高橋ゆかり  
人間総合科学大学保健医療学部看護学科 本江 朝美
- 360 看護学生の職業的アイデンティティの確立過程と関連要因に関する研究  
名古屋市立大学保健福祉学部看護学科 ○高橋 美和
- 361 助産学生のライフコース構想とキャリアデザイン -学習前後の仕事と子育てに関する意識の変化-  
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 ○竹内美由紀 野口 純子 宮本 政子  
植村 裕子 榮 玲子 松村 恵子

第10会場 第34群 看護教育11 13:30~14:30

- 362 ヘルスアセスメント学習に高齢者が看護の対象者役として参加した演習方法の効果  
山梨県立大学看護学部 ○森田 祐代 渡邊 裕子 井川 由貴 平田 良江 茂手木明美
- 363 ヘルスアセスメント学習に地域在住者および模擬患者を活用した演習効果の特徴  
山梨県立大学看護学部 ○井川 由貴 渡邊 裕子 森田 祐代 平田 良江 茂手木明美
- 364 医療事故防止における臨地実習前・中・後の指導のあり方 -過去10年間の文献からの検討-  
熊本保健科学大学 ○岩瀬 裕子 田中 英子
- 365 学士課程における総合看護学実習後の看護技術の経験状況  
京都橘大学看護学部 ○中橋 苗代 梶谷 佳子 那須 潤子
- 366 学士課程における総合看護学実習後の看護技術到達状況  
京都橘大学看護学部 ○梶谷 佳子 中橋 苗代 那須 潤子

第10会場 第35群 看護教育12 13:30~14:30

- 367 看護学生の病床環境観察に関する思考過程 - 眼球運動と発話内容による分析 -  
 埼玉医科大学保健医療学部看護学科 ○林 静子  
 明治国際医療大学看護学部看護学科 西山ゆかり  
 山梨大学大学院医学工学総合研究部 安藤 晴美
- 368 基礎看護教育における学生の捉える呼吸音の表現と特徴  
 桐生大学医療保健学部看護学科 ○上星 浩子 内山かおる  
 群馬大学大学院保健学系研究科 藤本 桂子
- 369 自己学習支援による授業の試み学生による模擬授業を行っての理解とアンケート結果  
 関西医療大学看護学部 ○井村 弥生  
 青葉丘病院 赤阪 綾
- 370 清潔に関する看護技術教育に実験を取り入れる効果  
 岐阜大学医学部看護学科 ○岡本 千尋 滝内 隆子
- 371 先輩看護学生参加型の看護技術演習における協同学習の取り組み  
 滋賀県立大学人間看護学部 ○米田 照美 伊丹 君和

第10会場 第36群 看護教育13 13:30~14:30

- 372 「5分間head to toeアセスメント」を通した老年看護実習での3年次生の学び  
 鳥取大学医学部保健学科 ○西村 直子 前田 恵利 芦立 典子 谷村 千華 野口 佳美  
 大庭 桂子
- 373 学士課程4年生における看護技術演習・シミュレーション学習の評価  
 京都府立医科大学医学部看護学科 ○毛利 貴子 光木 幸子 笹川 寿美 滝下 幸栄  
 山本 容子 山縣 恵美 高尾 憲司 眞鍋えみ子  
 岡山 寧子  
 京都府立医科大学附属病院 倉ヶ市絵美佳
- 374 看護技術修得のための自己学習ツールとしてのVTR活用の有効性  
 愛知県立大学看護学部看護学科 ○曾田 陽子 大津 廣子 尾沼奈緒美 西尾亜理砂  
 山口 桂子 箕浦 哲嗣
- 375 Moodleを利用したブレンディッドラーニングの授業実践における学生の学習活動  
 福岡大学医学部看護学科 ○吉川千鶴子 須崎しのぶ 山下 千波 川口賀津子 中嶋恵美子
- 376 eラーニングシステムによる基礎看護技術習得への学習支援の評価  
 梅花女子大学看護学部看護学科 ○緒方 巧 西上あゆみ 湯浅 美香

第10会場 第37群 看護教育14 14:40~15:40

- 377 ブレンディッドラーニングシステムを活用したe-learningのアクセス履歴の分析  
岐阜大学医学部看護学科 ○高橋由起子 松田 好美 梅村 俊彰
- 378 基礎看護技術教育へのeラーニング導入期における視聴実態の分析  
梅花女子大学看護学部看護学科 ○湯浅 美香 西上あゆみ 緒方 巧
- 379 グループで学びを共有する模擬患者参加型看護技術教育の学生による評価  
島根県立大学短期大学部看護学科 ○吉川 洋子 松本亥智江 平井 由佳 田原 和美  
柴 麻由子
- 380 グループワークを用いた看護過程の学習における学生の学びと困難に関する研究  
富山福祉短期大学看護学科 ○河相てる美 一ノ山隆司 若瀬 淳子 村田美代子
- 381 がん当事者参加型講義を取り入れた授業の効果  
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 ○平野 裕子 渋谷えり子

第10会場 第38群 看護教育15 14:40~15:40

- 382 ロールプレイ法による患者指導演習の学習効果  
川崎市立看護短期大学看護学科 ○小濱 優子
- 383 ターミナル期の患者を受持った学生のストレスとコーピング  
国立がん研究センター東病院 ○中山 朋子  
岩手県立大学看護学部 及川 紳代 森 一恵
- 384 学生が統合看護実習で学んだ「看護管理」  
兵庫医療大学看護学部看護学科 ○山田 千春 大町 弥生 加藤 泰子  
兵庫医科大学ささやま医療センター看護部 上谷 幸子 西山 静香 窪 浩子
- 385 患者との関わりに困惑した看護学生の反省的実践を助ける教育的関わり  
神戸市看護大学看護学部 ○鯨坂 由紀  
愛知県立大学看護学部 小松万喜子
- 386 基礎看護学実習1における看護学生の思いと他者意識, Sense of Coherenceとの関連  
国際医療福祉大学小田原保健医療学部 ○杉山 洋介  
上武大学看護学部 本江 朝美 高橋ゆかり 古市 清美

第10会場 第39群 看護教育16 14:40~15:40

- 387 基礎看護学実習1前後における看護職アイデンティティと看護師イメージの変化  
獨協医科大学看護学部 ○遠藤 恭子 米澤 弘恵 石綿 啓子 佐藤 佳子 鈴木 明美  
錦織 正子

## 一般演題・示説

- 388 成人慢性期の看護過程の学習プロセスにおける思考の振り返りによる学び  
三重県立看護大学 ○名倉真砂美 脇坂 浩 竹本三重子 竹山 育恵 長谷川智之 玉田 章
- 389 卒業生の語りから得られた教育の成果と課題 -就職後6ヶ月目の卒業生へのインタビュー結果-  
園田学園女子大学人間健康学部人間看護学科 ○大納 庸子 竹元 恵子 新垣 洋美  
近田 敬子
- 390 臨地実習での生命倫理に関する学生の経験及び実習指導者が指導に必要なだとする事柄  
九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科 ○柴田 恵子 川本起久子
- 391 臨地実習で個別健康教育を経験した看護学生の苦悩と学び  
岡山県立大学保健福祉学部看護学科 ○太田 夕貴 玉谷奈都美 荻 あや子

### 第10会場 第40群 看護教育17 14:40~15:40

- 392 終末期看護の教育方法に関する検討 -終末期患者を受持った看護学生の学習過程の振り返りから-  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部 ○原田江梨子 藤永 新子 安森 由美
- 393 重症患者の「病室に行くことを躊躇する」学生の体験を通じた教育的介入の検討  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科 ○藤永 新子 原田江梨子 安森 由美
- 394 老年看護学実習において「高齢者理解」する方法についての学生の学びに基づいた教員の支援方法の検討  
順天堂大学医療看護学部 ○横山 久美  
日本赤十字看護大学 住谷ゆかり  
東京医療保健大学医療保健学部看護学科 阿部 桃子 坂田 直美
- 395 老年看護学実習における学生の学び -介護老人福祉施設における看護職の役割と課題について-  
日本赤十字看護大学 ○住谷ゆかり  
順天堂大学医療看護学部 横山 久美  
東京医療保健大学 阿部 桃子 坂田 直美
- 396 老年看護学実習前後における高齢者に対する学生のイメージの変化  
鳥取大学 ○野口 佳美 前田 恵利 大庭 桂子 谷村 千華 芦立 典子 西村 直子

### 第10会場 第41群 看護教育18 14:40~15:40

- 397 看護師が認識する心理教育実施上の障壁と打開案  
神戸常盤大学保健科学部看護学科 ○河野あゆみ 松田 光信
- 398 看護実践能力に対する自己評価・他者評価に関する研究(第1報)  
金沢医科大学看護学部 ○久司 一葉  
福井県立大学看護福祉学部看護学科 笠井 恭子

## 一般演題・示説

### 399 卒後3年目における看護実践能力経験到達状況と職務ストレスとの関連

京都府立医科大学 ○大久保友香子 和泉 美枝 小松 光代 三橋 美和 眞鍋えみ子  
岡山 寧子

### 400 患者・家族の視点で学生が捉えた看護師の化粧の評価

岡山県立大学保健福祉学部看護学科 ○玉谷奈都美 太田 夕貴 荻 あや子

### 401 介護老人保健施設実習で管理栄養士の講義と試食を体験した学生の学び

広島国際大学看護学部 ○白木 智子 山田 智子 近藤 裕子  
介護老人保健施設はまな荘 山村嘉寿美

## 第11会場 第42群 看護教育19 11:10~12:10

### 402 性同一性障害学生受け入れに関する実態調査

聖隷クリストファー大学看護学部看護学科 ○藤井 徹也 篠崎恵美子  
聖路加看護大学看護学部 中山 和弘  
名古屋大学医学部保健学科 玉腰 浩司  
豊橋創造大学保健医療学部看護学科 井本 実菜  
名古屋大学大学院医学系研究科 服部 美穂

### 403 臨地実習において教員が感じている学生の患者情報取り扱い上の問題

中部大学保健看護学科 ○夏目美貴子  
名古屋大学医学系研究科 太田 勝正

### 404 看護学生の災害医療に関するレディネス

中京学院大学看護学部看護学科 ○西谷 千恵

### 405 学生の看護研究における倫理審査と学習到達度の関連

福岡大学医学部看護学科 ○野尻 和美 原田 広枝 黒髪 恵 馬場みちえ 岩永 和代  
大倉 美鶴 佐久間良子 福田 和美 須崎しのぶ 塚原ひとみ

### 406 看護基礎教育における看護研究指導の方法と学習到達度の関連

福岡大学医学部看護学科 ○黒髪 恵 原田 広枝 野尻 和美 岩永 和代 草野ひとみ  
有田 久美 嶋松 陽子

## 第11群 第43群 看護教育・看護管理 11:10~12:10

### 407 《看護の統合と実践》を受講した学生の看護実践能力経験到達度の変化

京都府立医科大学医学部看護学科 ○光木 幸子 毛利 貴子 滝下 幸栄 笹川 寿美  
山本 容子 山縣 恵美 高尾 憲司 岡山 寧子  
眞鍋えみ子  
京都府立医科大学附属病院 倉ヶ市絵美佳

408 看護実践能力と看護師経験年数との関係

広島大学大学院保健学研究科 ○高瀬美由紀 寺岡 幸子 宮腰由紀子  
広島都市学園大学健康科学部 川田 綾子

409 看護実践能力評価尺度の開発

広島大学大学院保健学研究科 ○高瀬美由紀 寺岡 幸子 宮腰由紀子 中吉 陽子  
広島大学病院看護部管理室 山本 雅子

410 勤続11年以上の看護職員の臨床能力と達成動機

京都府立医科大学 ○和泉 美枝 小松 光代 西村布佐子 大澤 智美 倉ヶ市絵美佳  
橋元 春美 眞鍋えみ子

411 中堅看護師の自己教育力と看護管理者からの支援との関連

北海道文教大学看護学科 ○原谷 珠美

第11会場 第44群 看護管理6 11:10~12:10

412 病院で働く看護職の自己教育力・参画力・看護力と取得免許の関係

島根県立大学短期大学部 ○三島三代子 吾郷美奈恵 石橋 照子 梶谷みゆき

413 病院に勤務する専門看護師の職場環境の実態と職務満足との関連

山形大学医学部看護学科 ○馬場 薫 齋藤 深雪 田中 幸子  
神奈川県立保健福祉大学 丸山 幸恵

414 臨床看護師が考える受け持ち看護師の役割と行動 -看護師の意識調査を通して-

広島大学病院看護部 ○齋藤 美佳 板谷 恵美 木佐貫尚美 山本 雅子

415 臨床経験年数8年目以上の看護師の自律的な判断のプロセス

愛知県立大学看護学部 ○籠 玲子  
東北大学医学部医学系研究科 朝倉 京子

416 「待ち時間」をめぐる患者・看護師の認識差に関する研究

医療法人祐生会みどりヶ丘病院 ○有川 晶子 長友 聡美 渡邊さおり 井本美由紀  
臨床研究支援センター (Office AKI) 山田 一朗

第11会場 第45群 看護管理7 11:10~12:10

417 看護配置による看護周辺業務実施状況の違い

三重県立看護大学 ○灘波 浩子 若林たけ子 小池 敦

418 イラショナルピリーフとユーモア感覚が看護師および介護職者の職業性ストレスにおよぼす影響

和水町居宅介護支援事業所 ○糸永喜代美  
九州看護福祉大学大学院精神保健学専攻 徳永 淳也

### 419 看護師が感じるQOL・インフォームドコンセントと倫理的課題

東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科 ○今川 詢子  
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 長谷川真美 渋谷えり子 兼宗 美幸  
埼玉県総合リハビリテーションセンター 徳世 良重

### 420 看護師の年齢・経験年数別にみた接遇・尊重・説明・指導における看護行為の評価

富山市立富山市民病院看護部 ○吉川 侑希 山田 智樹 高澤みさき 小長井麻衣  
高柳 佳忠  
福井大学医学部看護学科 上野 栄一

### 421 リハビリテーション病棟で働く看護師のやりがい

獨協医科大学看護学部看護学科 ○梶山 直子 金子 昌子 鈴木 純恵

## 第11会場 第46群 看護管理・慢性期看護 13:30~14:40

### 422 看護職への暴力とその心理的影響について

新潟青陵大学 ○和田由紀子 河内 浩美

### 423 男性看護師に関する研究の動向

小牧市民病院 ○竹井 留美  
名古屋大学大学院医学系研究科 横内 光子

### 424 男性看護師のストレスの実態 -精神健康度と職業性ストレスの視点から-

北海道大学医学部保健学科 ○須見なつき 菊谷麻璃菜 佐々木静香 須藤 寛子 宮島 直子

### 425 外来で透析を受ける後期高齢者のセルフケアの実際と看護の検討

新潟青陵大学看護学科 ○金子 史代

### 426 外来血液透析療法を受けている患者のQOLとその関連要因

独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター ○佐々木 瞳  
国立がん研究センター東病院 宇野 容子  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 黒田 裕美 橋爪 可織 山口 智美 浦田 秀子  
楠葉 洋子

## 第11会場 第47群 慢性期看護 13:30~14:40

### 427 人工膝関節全置換術を受けた高齢者の手術決断に関する意思決定プロセス

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス ○山中 知子  
島根大学医学部看護学科 原 祥子

### 428 人工膝関節全置換術を受けた高齢者の術前の期待と術後満足度

佐賀大学医学部看護学科 ○赤木 京子 藤田 君支

- 429 透析患者のリンに対する意識・認識と食生活の実際 ～正常群と高リン血症群の比較から～  
東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科 ○中村 織恵  
医療法人桂水会岡病院 福島 明美 小松 芳子

- 430 脳卒中後遺症で機能的自立度評価が低い患者への生活行動再獲得を目指した看護  
北海道大学大学院 ○林 裕子  
医療法人社団秋桜丸川病院 丸川 陽子 山田 雅代  
筑波大学 日高紀久江  
北海道医療大学 福良 薫  
静岡県立大学 紙屋 克子

- 431 慢性期脳卒中患者のリハビリテーション継続のための要因  
昭和大学保健医療学部 ○井原 緑 大木 友美

### 第11会場 第48群 がん看護 13:30～14:40

- 432 がん看護実践に活用可能な補完代替療法の効果と安全性のエビデンスに関する文献検討  
元沖縄県立看護大学大学院保健看護学研究科博士後期課程 ○相原 優子  
沖縄県立看護大学 神里みどり  
名桜大学人間健康学部看護学科 清水かおり  
沖縄県立看護大学大学院保健看護学研究科博士後期課程 謝花小百合 玉井なおみ  
沖縄県立看護大学大学院保健看護学研究科博士前期課程 濱田 香純

- 433 クリーンルーム（準クリーンルーム含む）入室患者の不応感の抽出2  
山口大学大学院医学系研究科 ○山田 忍  
四日市看護医療大学 大久保仁司  
公立大学法人和歌山県立医科大学附属病院 三坂 里美

- 434 前立腺がん患者の排尿負担感とコーピングが心の健康に与える影響  
新見公立大学看護学部看護学科 ○掛屋 純子  
岡山県立大学保健福祉学部看護学科 掛橋千賀子  
川崎医科大学付属病院 常 義政

- 435 乳がん患者の首尾一貫感覚 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによる構造化  
高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 ○福島 直子 尾島喜代美

- 436 外来がん化学療法患者のセルフケア支援に関する視聴覚教材の有用性の検討（第2報）病棟看護師の意見より  
川崎医療福祉大学 ○若崎 淳子  
福山平成大学 名越 恵美  
岡山県立大学 掛橋千賀子

- 437 オストメイトがセルフケア能力を獲得する上での看護師の役割と課題  
広島大学病院 ○山根 麻子  
広島大学大学院保健学研究科 上野 和美 片岡 健

第11会場 第49群 精神看護1 13:30~14:40

- 438 精神科外来での見学実習を通しての学生の学び  
 徳島大学大学院 ○片岡 三佳 千葉 進一 奥田紀久子 松下 恭子 藤井智恵子  
 岡久 玲子 廣原 紀恵 郷木 義子 多田 敏子
- 439 精神看護実習における学生との関わりおよびストレスが看護実践能力におよぼす影響  
 九州看護福祉大学大学院精神保健学専攻 ○大井 美樹 徳永 淳也
- 440 精神科看護師における看護アセスメントに関する実態調査  
 九州大学大学院 ○藤野 成美 鳩野 洋子  
 九州国際大学 牟田 真美  
 広島大学大学院 岡村 仁
- 441 精神看護学実習における学生の「患者との人間関係形成」の評価に繋がる体験内容  
 福岡大学医学部看護学科 ○石飛マリコ 黒髪 恵 焼山 和憲
- 442 精神看護学実習における学生の不安に対する心理教育的アプローチの効果  
 医療法人社団稔聖会こおりやまほっとクリニック ○佐藤 史教  
 岩手県立大学看護学部 村上 幸恵  
 平山クリニック 村松 仁

第11会場 第50群 精神看護2 13:30~14:40

- 443 精神障がいの子を持つ母親が困難を乗り越えるプロセス  
 医療法人社団保健会谷津保健病院 ○野田実由姫  
 岩手県立大学看護学部 田辺有理子
- 444 手術を受けた精神科身体合併症患者の実態 ～精神科身体合併症管理加算に焦点を当てて～  
 国立国際医療研究センター病院 ○山下 真鈴 古賀 郁衣 宇都宮 智
- 445 青森県民の「こころのバリアフリー宣言」の認識に関する研究  
 弘前医療福祉大学保健学部看護学科 ○板山 稔 高田絵理子  
 東京医療保健大学東が丘看護学部 田中 留伊
- 446 他者の心理状況を推論する早さに関連するパーソナリティー構成要素  
 京都橘大学看護学部 ○松本 賢哉  
 信州大学医学部保健学科 下里 誠二  
 筑波大学大学院人間総合科学研究科 森 千鶴
- 447 心理教育的アプローチを用いた睡眠健康教育 ～ある地域活動支援センターでの実践報告～  
 四国大学看護学部看護学科 ○藤代 知美 森内 幹  
 香川県立保健医療大学保健医療学研究科 藤森 由子

第11会場 第51群 精神看護3 14:40~15:50

- 448 デイケア通所者の通所目的の有無による生活機能の比較 -精神障害者生活機能評価尺度を基準にして-  
山形大学 ○齋藤 深雪 馬場 薫  
甲南女子大学 吾妻 知美  
山形大学医学部附属病院 真木 智
- 449 地域クリニックにおける児童精神医療の実態と課題  
埼玉医科大学保健医療学部看護学科 ○久保 恭子  
日本保健医療大学 田崎知恵子  
東京慈恵会大学 川野 雅資 片山 典子 石川 純子 塩月 玲奈 朝倉真奈美
- 450 精神科デイケア利用者に対する食事・運動・服薬に関する健康教育プログラムの効果  
弘前医療福祉大学保健学部看護学科 ○高田絵理子 板山 稔  
山形大学医学部看護学科 大竹まり子 森鍵 祐子 鈴木 育子 細谷たき子 小林 淳子  
叶谷 由佳
- 451 長期入院生活を送る統合失調症患者の老いを生きることへの支えとなる体験や想い  
国際医療福祉大学福岡看護学部 ○脇崎 裕子  
九州大学医学部研究院保健学部門 藤野 成美
- 452 統合失調症患者の身体合併症治療に対する受けとめ  
島根大学医学部看護学科 ○江藤 剛 長田 京子 大森 眞澄

第11会場 第52群 地域・在宅看護1 14:40~15:50

- 453 病棟看護師の退院調整に関する看護スキルの現状と看護を行う上での困難点  
京都府立医科大学附属病院地域医療連携部 ○光本かおり 岡 薫  
京都府立医科大学医学部看護学科 岩脇 陽子 滝下 幸栄 松岡 知子 山本 容子  
京都府立医科大学附属病院看護部 福永たか子 橋元 春美 小城智圭子
- 454 退院調整看護師による病棟看護師への研修の教育効果  
京都府立医科大学附属病院地域医療連携室 ○岡 薫 光本かおり  
京都府立医科大学医学部看護学科 岩脇 陽子 滝下 幸栄 松岡 知子 山本 容子  
京都府立医科大学附属病院看護部 福永たか子 橋元 春美 今村 浪子
- 455 地域包括支援センター保健師の活動に係る自己評価項目の試案  
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 ○善生まり子
- 456 訪問看護師の医療処置の実施状況と研修に関する研究  
日本赤十字豊田看護大学 ○福田由紀子

## 一般演題・示説

457 ヘルパーによる気管内痰吸引に対するALS患者と主介護者の願い

純真学園大学保健医療学部看護学科 ○内山 久美  
熊本大学大学院生命科学研究部 柗中智恵子

### 第11会場 第53群 地域・在宅看護2 14:40~15:50

458 ALS在宅療養者ヘルパーの痰の吸引に対する意識

共立女子短期大学看護学科 ○西 留美子 矢野 章永

459 岡山県A市における入浴事故の実態とその要因に関する研究

岡山県立大学保健福祉学部 ○肥後すみ子  
倉敷成人病センター 川上 蘭 大元 麻未  
財団法人倉敷中央病院 向井 夏葉  
岡山大学大学院保健学研究科 深井喜代子

460 看護職者による在宅酸素療法利用者への支援の検討

市立吹田市民病院 ○三井 昌美  
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 井上 智子

461 在宅ケアにおける創傷のアセスメントとケアの現状

山陽学園大学看護学部 ○林 由佳  
岡山大学大学院保健学研究科 斎藤 信也 高取 朋美  
吉備国際大学保健医療福祉学部 木村 麻紀

462 在宅療養移行への看護アセスメントシートに関する研究 -一般開放型とがん拠点病院の比較-

順天堂大学医療看護学部 ○樋口キエ子 小竹久実子  
東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科 高橋フミエ

463 在日外国人患者に対する看護についての考察 -在日外国人入院患者に関わった看護師の体験から-

名古屋第二赤十字病院 ○西村 佳穂  
三重県立看護大学 橋本 秀実

### 第11会場 第54群 地域・在宅看護など 14:40~15:50

464 始まった小規模多機能型居宅介護施設A県の状況と課題

東北福祉大学健康科学部保健看護学科 ○菅原千恵子

465 重症心身障害児・者の親の会が親に及ぼす影響

広島文化学園大学看護学部 ○高橋登志枝

466 訪問看護師が訪問看護援助提供に困難を感じたことのある精神科訪問看護利用者の概要とその背景

愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科 ○梶原 理絵  
兵庫県立大学看護学部 新井香奈子 中野 康子

## 一般演題・示説

---

- 467 A県訪問看護ステーション管理者による精神科訪問看護に関する認識  
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 ○林 裕栄
- 468 精神障害者の支援に関する研究 精神保健福祉ボランティアの視点から支援を考察する  
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 ○中添 和代
- 469 マンダラートによる在宅看護の概念構成因子の分析  
共立女子短期大学看護学科 ○矢野 章永 西 留美子